

# 機能の更新: 4 月 2017 ~ 6 月 2019

初版 : 2017 年 9 月 4 日

最終更新 : 2019 年 10 月 1 日

## 機能の更新

このドキュメントでは、最後の3ヵ月を除き、Cisco Business Edition 4000の最初のリリース以降の累積機能の更新について説明します。BE4000で導入された最新の機能については、『[Cisco Business Edition 4000 Release Notes](#)』を参照してください。

### 2019 年 6 月に導入された機能

- **Cisco ATA 191 アナログ電話アダプタ**

BE4000 Cisco ATA 191 アナログ電話アダプタをサポートしています。

- **Cisco IP 電話 8800 キー拡張モジュール**

BE4000 次のエンドポイントの Cisco IP 電話 8800 キー拡張モジュール (CP-8800-A-KEM = および CP-8800-V-KEM =) をサポートしています。

- CP-8800-A-KEM =: Cisco IP 電話 8851 および Cisco IP 電話 8861 でのみサポートされています。
- CP-8800-V-KEM =: Cisco IP 電話 8865 でのみサポートされています。

- **エンタープライズ回線キーのサポート**

BE4000 Cisco IP 電話 8800 シリーズ電話機でのエンタープライズ回線キー (ELK) の設定をサポートします。エンドユーザは、電話画面の両側にあるボタンを使用して、内線、インターコム、短縮ダイヤル、または BLF スピードダイヤルを設定できます。



(注) 右側の電話ボタンはBE4000ポータルに表示されませんが、電話機で設定できます。

詳細については、『[Cisco Business Edition 4000 パートナーガイド](#)』を参照してください。

- **電話のブランディング**

BE4000 は、カスタマイズされた背景と呼出音を含む電話に顧客ブランディングを適用するために、シスコパートナーおよびカスタマー管理者をサポートしています。

詳細については、『[Cisco Business Edition 4000 Partner Guide](#)』および『[Cisco Business Edition 4000 Customer Administration Guide](#)』を参照してください。

#### • ボイスメール スペース通知

Cisco Business Edition セルフケアポータルは、エンドユーザのボイスメールボックスが最大80%を超えた場合に電子メール通知を有効にするオプションをサポートしています。シスコパートナーおよびお客様の管理者は、電子メール通知を有効にすることができます。**[メールボックス スペース通知の有効化]** チェックボックスをオンにします。

詳細については、『[Cisco Business Edition 4000 パートナーガイド](#)』を参照してください。

#### • グループ ボイスメール ボックスの所有者

のCisco Business Edition 4000 管理ポータルセットアップアシスタントにグループボイスメールボックスのグループ所有者を設定することが必須です。グループのボイスメールボックスは、グループのユーザ所有者としてハントグループの最初のメンバーを使用して作成されます。

#### • BRI/PRI カードの混合導入

BRI (NIM-2BRI-NT/te、NIM-4BRI-NT/TE) および PRI (NIM-1MFT-T1/E1、NIM-2BRI-T1/E1、NIM-4BRI-T1/E1) カードの組み合わせを BE4000 アプライアンスに設定することはできません。

#### • コール詳細レコード ロギングと緊急コール アラート

BE4000 コール詳細レコード (CDR) を生成し、緊急コールアラートをサポートできます。

コール詳細レコード (CDR) 収集を有効にすると、システムは、電話システムが収集してシスコに送信する情報に基づいて、使用メトリックレポートを生成できます。収集された情報には、発信者と着信者の番号、時間 および各コールの時間が含まれます。CDR 収集を有効にすると、指定した番号がダイヤルされたときに電子メール通知を提供することもできます。たとえば、911へのコールの通知などです。

#### • ボイスメールの説明スタイルの設定

BE4000 ボイスメールアプリケーションナレーターによって再生される音声の長さを変更して、ボイスメールメッセージを電話機でチェックすることができます。**[デフォルト (Default)]**、**[曜日 (Day of Week)]** および **[Brief]** は、使用可能なオプションです。**[ボイスメールの説明スタイル (Voicemail Description Style)]** ドロップダウンリストは、**[サイトの管理 (Manage Site) > 設定 (Settings) > システム設定 (System Settings)]** の下にあります。

#### • ユーザ ボイスメール ボックスのクリア

BE4000シスコパートナーおよびお客様は、受信箱内のすべてのボイスメールを、**パーソナルボイスメールボックス (Personal Voicemail Box)** で **[Erase ボイスメール (Erase voicemails)]** オプションを使用して削除することができます。

**[ボイスメールの消去 (Erase voicemails)]** オプションを使用すると、電話インターフェイスを使用したり、各メッセージを削除したりせずに、パーソナルボイスメールボックス全体をクリアできます。

- このメニュー オプションを繰り返す

[自動応答(Auto Attendant) > メニューを開く(Open Menu)]と[自動応答(Auto Attendant) > メニューを閉じる(Closed Menu)] ページからの [メニューオプションの追加(Add Menu Option)] ドロップダウンリストにあるこのメニューを繰り返すオプションはサポートされなくなりました。

## 2019年3月に導入された機能

- スタートポロジ

BE4000 は、サイト間ダイヤリング (スタートポロジ) をサポートします。サイト間ダイヤリングのために、任意の数の BE4000 サイトを集中型呼制御システム (Cisco ユニファイド SIP プロキシ、Cisco ユニファイド コミュニケーション マネージャ、サードパーティ製 SIP プロバイダーなど) に接続できます。スタートポロジでは、コールは各 BE4000 から、SIP を使用して IP ネットワーク上の集中型呼制御に直接ルーティングされます。スタートポロジで使用できる BE4000 サイトの数の制限はありません。

シスコパートナーおよびお客様の管理者は、サイト間ダイヤリング (スタートポロジ) を設定できます。詳細については、『[Cisco Business Edition 4000 Partner Guide](#)』および『[Cisco Business Edition 4000 Customer Administrator Guide](#)』を参照してください。

- RMA の機能拡張

**Replace/Reset** は、オンライン BE4000 サイトの [アクション (Actions)] メニューから使用可能なオプション再展開サイトと RMA デバイスを置き換えます。

- **ハードウェアの交換(Replace Hardware)**: 既存の設定を新しいハードウェアに移行します。障害が発生した BE4000 アプライアンスを新しいものと交換する場合は、このオプションを選択します。
- **[初期設定へのリセット (Factory Reset)]**: 同じハードウェアを使用してシステム設定を事前展開された状態にリセットします。初期展開後に行われたすべての設定変更を削除する場合は、このオプションを選択します。

詳細については、『[Cisco Business Edition 4000 パートナーガイド](#)』を参照してください。

- 単一ユーザパートナー組織の OTP リセットプロセス

シスコパートナーは自分の OTP アカウントをリセットできます。リカバリコードが失われ、パートナー組織の唯一のユーザであるシナリオでは、自分の OTP をリセットできません。

[**リカバリコードの入力 (Enter Recovery code)**] ページで、[リカバリコードを使用しない (Don't In a recovery code?)] オプションをクリックし、手順に従います。

詳細については、『[Cisco Business Edition 4000 パートナーガイド](#)』を参照してください。

- コール転送ページの更新

[**サイトの管理(Manage Site) > 内線番号(Extensions) > 内線番号の追加(Add Extension)**] および [**サイトの管理(Manage Site) > 内線番号(Extensions) > 内線番号の修正(Modify Extension)**]

]の下の[不在転送]ページの次のテキストフィールドがドロップダウンリストに変換されました。

- すべて
- ビジー
- Unregistered
- 無応答
- 夜間サービス ベル

## 2019年2月に導入された機能

### • スマートライセンスのステータス

BE4000ポータルでスマートライセンスアカウントのステータスを表示できます。

スマートライセンストークンの追加は、初期サイト展開中(セットアップアシスタントではオプション)です。初期展開時にスマートライセンストークンがない場合は、BE4000は評価モードに入ります。90日間は、評価モードでBE4000を設定して展開できます。評価期間が終了する前に、BE4000クラウドポータルでスマートライセンストークンを入力する必要があります。

シスコパートナーおよびお客様の管理者は、スマートライセンスアカウントのステータスを表示し、[サイトの管理(Manage Site)>設定(Settings)>ライセンス(Licensing)]でスマートライセンストークンを更新することもできます。

詳細については、『[Cisco Business Edition 4000 パートナーガイド](#)』を参照してください。

### • ラインカード - フィールド名の変更

[ラインカード(Line Cards)]ページの[タイプ(Type)]ドロップダウンリストから[トランク(Trunk)]が選択されたときに表示されるフィールドラベルと内線番号は、それぞれ名前と番号に名前が変更されます。

## 2019年1月に導入された機能

### • 内線番号のデフォルトの制限クラス (COR) はありません

[サイトの管理(Manage Site)>内線番号(Extensions)>内線番号の追加(Add Extensions)]の下にある[電話の追加(add Phone)]ページの[COR]フィールドと[サイトの管理(Manage Site)>電話(Phone)]にデフォルト値が含まれていない場合は[基本情報(Basic Info)]ページに表示されます。シスコパートナーまたはお客様の管理者は、内線番号または電話の追加時にCORの値を選択する必要があります。2019年1月より前は、CORのデフォルト値は「内部(Internal)」でした。

### • シスコパートナーは、お客様の管理者を追加することができます

シスコパートナーは、お客様の管理者ポストサイト展開を追加することができます。

顧客の管理者を追加するには、ダッシュボードで、目的の顧客名を含む行にマウスを移動し、[顧客管理(Manage Customer) > 顧客の管理(Customer Admin)] をクリックします。ページの右上隅にある [管理の追加(Add Admin)] をクリックし、必要な詳細情報を入力します。

The screenshot shows the Cisco Customer Management dashboard. At the top, there is a 'Release Update' banner. Below it, the Cisco logo and 'Cisco' text are visible. The main header includes 'Users', 'Help', and 'John Admin'. The main content area is titled 'Customers' and features a search bar, 'Refresh', 'Edit Columns', and an 'Add Customer' button. A table lists customers with columns for Customer Name, Location, Status, Serial Number, Phones, Last Change, and Actions. The 'Customer XYZ' row is highlighted, and a dropdown menu is open, showing options: 'Manage Customer >', 'Customer Admin', and 'Inter Site Dialling'. The 'Customer Admin' option is highlighted with a red box.

Customer Name	Location	Status	Serial Number	Phones	Last Change	Actions
Customer ABC	(1)					
Customer XYZ	(4) Hide sites ^					Manage Customer > Customer Admin Inter Site Dialling
	Chennai	● Online	FLM1234X567	2 (2)	6d	...
	Australia	● Online	FLM3456Y789	4 (2)	3d	...
	Peru	● Ready to Deploy	--	--	--	...
	Brazil	● Ready to Deploy	--	--	--	...

#### • ハードウェア会議

BE4000ハードウェア会議に対応ハードウェア会議では、BE4000アプライアンスで使用可能な DSP リソースが使用され、アドホック会議または会議会議のいずれかになります。最大8人の参加者を電話会議に参加させることができます。

会議の開催には、エンドユーザが事前に定義された会議番号をダイヤルする必要があります。アドホック会議の場合、エンドユーザは電話機の [転送 (Transfer)] ボタンを押して、アドホック会議コールを開始できます。会議番号をダイヤルする必要はありません。

シスコパートナーまたはお客様の管理者は、[サイトの管理(Manage Site) > 会議 (Conferencing)] の下で、会議番号のポストサイト展開を設定できます。

#### • 割り込み

BE4000 割り込み機能をサポートします。割り込み機能を使用すると、ディレクトリ番号を共有している電話機ユーザは、**割り込み**ソフトキーを押して共有回上のアクティブコールに参加することができます。発信者がコールに割り込むと、割り込み発信側、着信側およびそのコールで接続されているその他の通話者間で会議が作成されます。

シスコパートナーおよびお客様の管理者は、電話機のポストサイト展開で [割り込み (Barge)] ソフトキーを有効にすることができます。[サイトの管理((Manage Site)) > 電話 (Phones) > 電話の追加(Add Phone)] および [サイトの管理((Manage Site)) > 電話(Phones) > 電話の修正(Modify Phone)] の下の追加設定ページの [共有電話設定(Shared Line Settings)] セクションの [バージソフトキーの有効化(Enable Barge Softkey)] チェックボックスをオンにします。

## 2018年12月に導入された機能

2018年12月12日

- ハントグループでのコールキューイングを有効または無効にする機能

ハントグループのコールキューイングを有効または無効にすることができます。次の変更は、セットアップアシスタントの[ハントグループ(Hunt Groups)]ページと[サイトの管理(Manage Site)]で行われます。

- [コールキューイングの有効化(Enable Call Queuing)] チェックボックスが[ハントグループ(Hunt Groups)]ページに追加されます。コンフォートグリーンティングの頻度と最大待機時間のフィールドは、[コールキューイングの有効化(Enable Call Queuing)]チェックボックスの下に移動され、[コールキューイングの有効化(Enable Call Queuing)]チェックボックスが有効になっている場合にのみ表示されます。
- [メンバタイムアウト(Member Timeout)] フィールドは[タイマー(timer)]セクションの下に移動されます。

- コーデックのサポート

BE4000 は次のコーデックをサポートしています。

- g711ulaw
- g711alaw
- g729r8
- ilbc
- g722-64

g711ulaw と g711alaw は、「カスタム(Custom)」 SIP サービス プロバイダー テンプレートを使用しているときの初期展開時に、デフォルトで有効になっています。デフォルトでは、g711ulaw には最高のプライオリティが与えられます。他のコーデックを有効にして、SIP サービス プロバイダーのニーズに基づいて優先順位を変更することもできます。事前定義された SIP サービス プロバイダー テンプレートを使用している場合は、SIP サービス プロバイダーによって、コーデックがデフォルトで有効になっている必要があります。

Cisco パートナーは、音声クラスコーデックページのセットアップアシスタントウィザードで、コーデックを有効にし、初期展開時に優先順位を設定できます。ポストサイト展開では、シスコパートナーとカスタマー管理者の両方が、有効になっているコーデックのリストを変更し、[サイトの管理(Manage Site)] > SIP トランク(SIP Trunk)の下で優先順位を変更できます。

- 内線番号: シングル ナンバー リーチ (SNR) およびコール転送ページの並べ替え

内線を追加および変更するときに「シングルナンバーリーチ (Single Number Reach)(SNR)」ページと「コール転送(Call Forward)」ページが表示される順序は、交換されます。

## 2018年11月に導入された機能

2018年11月21日

### ・サイト間ダイヤリングのサポート

BE4000は、BE4000 PSTN ネットワークを使用BE4000せずに、同じ顧客に属する他のサイトにコールするためのサイトをサポートしています。サイト間BE4000のダイヤリング(別名サイト間ダイヤリングとも呼ばれる)は、地域ブランチオフィスなどの複数の場所を含む企業で役立ちます。

サイト間ダイヤリング機能と慎重な計画については、機能を備えたBE4000サイト間ダイヤリングサイトを導入する前に十分に理解しておく必要があります。

シスコパートナーおよびお客様の管理者は、サイト間ダイヤリングを設定できます。シスコパートナーは、Cisco Business Edition 4000 管理ポータルでサイト間ダイヤリングを設定できます。ダッシュボードで、目的のカスタマー名を含む行の上にマウスを移動し、[**サイト間ダイヤリング (Intersite Dialing)**]をクリックします。お客様の管理者は、Cisco Business Editionセルフケアポータルでサイト間ダイヤリングを設定できます。ダッシュボードで、右上隅にある**サイト間ダイヤリング(Intersite Dialing)**をクリックします。



(注) BE4000 メッシュトポロジのみをサポートします。

Release Update: New portal features have been released. Please visit the Release Notes for all the details.

Cisco Users Help John Admin

Customers

Refresh Edit Columns Add Customer

Customer Name	Location	Status	Serial Number	Phones	Last Change	Actions
Customer ABC	(1)					
Customer XYZ	(4) Hide sites ^					Inter Site Dialing >
	Chennai	Online	FLM1234X567	2 (2)	6d	...
	Australia	Online	FLM3456Y789	4 (2)	3d	...
	Peru	Ready to Deploy	--	--	--	...
	Brazil	Ready to Deploy	--	--	--	...

詳細についてはサイト間ダイヤリング、『Cisco Business Edition 4000 Partner guide』および『Cisco Business Edition 4000 Customer Admin Guide』を参照してください。

### ・外線番号をダイヤルするためのディジットの変更

シスコパートナーおよびお客様の管理者は、外部回線ポストサイト導入のダイヤルに使用されるディジットを変更できます。

ディジットを変更するには、[サイトの管理(Manage Site)>設定(Settings)>システム設定(System Settings)]に移動し、[外線にダイヤル(Dial an Outside Line)] ドロップダウンリストから数字を選択します。

- 内線番号を一括して追加

シスコパートナーまたはカスタマー管理者は、[サイトの管理(Manage Site)>内線番号(Extension)の]の下で、一括ポストサイト展開で拡張機能を追加できます。[内線番号の管理(Manage Extensions)] ページに [インポートステーション(Import Stations)] オプションが追加されました。

- [ラインカードの管理(Manage Line Card)]: 新しいフィールドが追加されました

NIM-2FXO および NIM-4FXO ラインカードを変更する際に、新しい一連のフィールドが追加されます。

Edit Line Card (NIM)
×

	Line 0	Line 1	Line 2	Line 3
Type	Trunk			
Label	1265432897			
Extension	aaa a 4001			
Start Type	Loop			
Direction	In + Out			
Law	u-law			
Input Gain (db)	0			
Output Attenuation (db)	0			
Show Advanced	<input checked="" type="checkbox"/>			
<b>Configuration Voiceport Commands</b>				
Cable Detect	Disable			
Bearer capability	speech			
Supervisory Disconnect	anytone			
<b>Time-Outs</b>				
Call Disconnect	timer			
	20	(0-120 sec)		
Initial Timeout	Initial Timeout (0-120 sec)			
Power Denial	Power Denial (0-2500 sec)			
Wait Release	timer			
	Wait Releas	(1-3600 sec)		

Back Next

[サイトの管理(Manage Site) > ラインカード(Line Cards) (NIM) > 設定の編集(Edit Configuration)] の下に [詳細を表示(Show Advanced)] チェックボックスが追加されます。  
[詳細の表示 (Show Advanced)] をオンにして、次のフィールドを表示および編集します。

フィールド	説明
<b>設定音声ポートコマンド</b>	
ケーブル検出	アナログ Foreign Exchange Office (FXO) ポートでのケーブルポーリングを有効または無効にします。

フィールド	説明
ベアラー機能	<p>(注) [ベアラー機能(Bearer Capability)] ドロップダウンリストを設定しても、FXOポートには影響しません。</p> <p>セッション開始プロトコル (SIP) の早期メディアコールの発信 ISDN セットアップメッセージ内のベアラー機能情報要素 (IE) の情報転送機能を指定します。次のいずれかを選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Speech: 情報転送機能として speech を指定します。</li> <li>• 3100hz: 情報転送機能として 3.1 kHz の音声を指定します。</li> </ul>
監視式のコール切断	<p>FXOポートで使用可能な監視切断シグナリングのタイプを設定します。FXOポートで監視切断トーンが検出されると、システムはこれをスイッチからの切断通知として解釈し、コールをクリアします。次のいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• dualtone: ルータが PBX または PSTN からのコールプログレストーンを検出したときにコールを切断します。</li> <li>• anytone: PBX または PSTN が監視トーンを提供しない場合、コールを切断します。切断をトリガーするトーンの例としては、ビジートーン、ファストビジートーン、ダイヤルトーンなどがあります。</li> <li>• [信号 (signal)]: リモートエンドで LCFO 信号を使用する電力拒否を検出することによって、切断通知を有効にします。</li> </ul>
タイムアウト	
Call Disconnect	<p>コールを切断するタイミングを指定します。次のいずれかを選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• タイマー - コールを切断する前に、電話が鳴っている間に待機する時間を指定します。範囲は 0 ~ 120 秒です。</li> <li>• 無限大: 切断の監視を無効にします。接続解除トーンが検出された場合、音声ポートは切断されません。</li> </ul>
Initial Timeout	<p>発信者がダイヤルされた番号の最初の桁を入力するまでシステムが待機する秒数を指定します。範囲は 0 ~ 120 秒です。</p>

フィールド	説明
電源の拒否	<p>(注) [電力拒否の設定]ドロップダウンリストは、FXOポートには影響しません。</p> <p>コールが切断されたときに、音声ゲートウェイがFXSポートに適用する電源拒否の継続時間を設定します。範囲は0～2500秒です。</p>
リリースの待機	<p>音声ポートをコール障害状態に保持できる時間を制限します。タイムアウト後、リリースシーケンスが有効になります。次のいずれかを選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• タイマー - 指定できる範囲は1～3600秒です。</li> <li>• 無限大 - コール障害状態が維持されている限り、音声ポートは解放されません。</li> </ul>

#### • SMTP 検証 - 機能拡張

- ドメイン名に使用できる文字数は、100に増加しています。
- SMTP サーバアドレスの検証中に表示されるエラーメッセージは、失敗の理由を含むように拡張されています。

#### • ハントグループタイマーを設定するための推奨事項

ハントグループのページでは、デフォルト値はロードされません。選択したハント方式に基づいて、次のフィールドの値を設定する必要があります。

- メンバertimeアウト
- コンフォートグリーティングの頻度
- 最大待機時間

着信コール処理を有効にし、着信発信者に対して良好な体験を提供するには、次の計算に従ってタイマーを設定することをお勧めします。

#### パラレルハント方式の例

コンフォートグリーティングの頻度を、メンバータイムアウトの2倍の値として設定し、最大待機時間をメンバータイムアウトの値と同じ値に設定します。

メンバータイムアウト = 30 秒

コンフォートグリーティングの頻度 = 2 x メンバータイムアウト = 2 x 30 = 60 秒

最大待機時間 = メンバータイムアウト = 30 秒

#### ピア、連続および最長アイドルハント方式の例

コンフォート グリーティングの頻度は、メンバー タイムアウトの値と、メンバー タイムアウト値としての最大待機時間を、ハント グループ内のメンバーの数で乗算した2倍として設定します。

ハント グループ内のメンバー = 5

メンバー タイムアウト = 30 秒

コンフォートグリーティングの頻度 = 2 x メンバー タイムアウト = 2 x 30 = 60 秒

最大待機時間 = メンバ数 x メンバー タイムアウト = 5 x 30 = 150 秒

- セットアップアシスタントで [システム設定 (System Settings)] ページが並べ替えられる

BE4000サイト(セットアップアシスタントウィザード)の初期展開時に、[接続(Connectivity)] タブの [LAN 接続 (LAN Connections)] ページの後に [システム設定 (System Settings)] ページが順番に並べ替えられます。以前は、ページは [ダイヤルプラン(Dial Plan)] タブにありました。

## 2018年10月に導入された機能

### 2018年10月31日

- 特定の番号からの着信コールをブロックする

シスコパートナーおよびお客様の管理者は、特定の番号からの着信コールをブロックすることができます。この機能は、telemarketers からの非要請コールをブロックする場合に基本的に役立ちます。

[ サイト管理 (Manage Site) > 着信コールのブロッキング(Inbound Call Blocking) ] の下の [ **i**着信コールのブロッキング(Inbound Call Blocking) ] ページで、ブロックする番号を追加します。各番号には、最低3桁と最大32桁の数字を使用できます。番号を追加する場合は、国際または国内のアクセス番号を含めないでください。最大100の番号を追加できます。

- 電話機の IP アドレスとファームウェアバージョンの表示

シスコパートナーおよびお客様の管理者は、[ サイトの管理(Manage Site) > 電話(Phones) ] ページで各電話機の IP アドレスとオペレーティングシステムのバージョンを表示できます。IPアドレスとオペレーティングシステムのバージョンを含む列は、デフォルトでは非表示になっています。表示するには、次の手順を実行します。

1. [列の編集(Edit Columns)] をクリックします。
2. [ IP Address and Version ] チェックボックスをオンにします。
3. [更新 (Update) ] をクリックします。



(注) 一部のシナリオでは、BE4000アプライアンスから抽出された電話機ファームウェア情報に特殊文字が含まれている場合、ファームウェアバージョンは「-」として表示されます。

#### • ブロックされた番号へのコールを許可する

シスコパートナーおよびお客様の管理者は、特定の内線番号がダイヤルプランでブロックされたコールを発信できるようにすることができます。

[**ブロックされた番号へのコールを許可 (Allow calls to calls)**] チェックボックスが、[**サイトの管理(Manage Site)>内線番号(Extensions)**]の下で拡張機能の追加と変更を行う際に使用可能な[追加設定(Additional Settings)]ページに追加されました。

#### • 特定の電話のプライバシーを有効にします。

プライバシーを有効にすると、他のユーザがコール情報を表示したり、共有オクトラインディレクトリ番号のコールに介入したりできないように、電話機ユーザがブロックできます。



(注) 共有回線に対してのみプライバシーを有効にする必要があります。

プライバシー保留は、すべての電話機に対してデフォルトでディセーブルになっています。プライバシー機能は、特定の電話に対して有効化または無効化できます。有効にするには、[**サイトの管理(Manage Site) > 電話(Phones) > 電話の修正(Modify Phone)**]の下の[追加設定(Additional Settings)]ページで利用できる**プライバシー**チェックボックスをオンにします。

プライバシーボタン機能は、エンドユーザが電話機のディスプレイでプライバシー機能のオン/オフを切り替えるオプションを提供します。[**サイトの管理(Manage Site) > 電話 > 電話の修正**]の下にある[追加設定(Additional Settings)]ページの[**プライバシー (Privacy)**]ボタンのチェックボックスがオンになっている場合、回線ボタンにプライバシーが割り当てられます。エンドユーザはプライバシーラインボタンを使用してプライバシーモードを切り替えることができます。

[**プライバシー (Privacy)**]が有効になっており、[**プライバシー (Privacy)**]ボタンが無効になっている場合、エンドユーザにはプライバシーモードをオンまたはオフに切り替えるオプションが表示されません。



(注) [**プライバシー (privacy)**]チェックボックスが有効になっている場合にのみ表示されます。

#### • 電話機でのハントグループ名の表示

電話機が複数のハントグループに属しており、いずれかのハントグループから着信コールを受信した場合、ハントグループの名前が電話機のディスプレイに表示されます。

- パーソナルボイスメールボックスの変更中にメッセージ待機インジケータ (MWI) を有効にする

シスコパートナーおよびお客様の管理者は、個人のボイスメールボックスを変更しながら、特定のエンドユーザに対して MWI を有効または無効にすることができます。

[ **Enable MWI** ] チェックボックスは、[ **サイトの管理(Manage Site)** > **パーソナルボイスメールボックス** > **修正** ] の下の [ボイスメール] ページに追加されます。



(注) [ **Enable MWI** ] チェックボックスは、[ **Enable Voicemail** ] チェックボックスがオンになっている場合にのみ使用できます。

- ページングの内線番号は内線番号の長さと同じにする必要があります

FXO ラインカードのページング内線番号を追加するときの桁数は、初期サイト展開時の [システム設定 (System Settings)] ページの内線番号に対して定義されている桁数と同じである必要があります。

- FXO ラインカード-フィールド名の変更

初期サイト展開時およびポストサイト導入時に FXO ラインカードのページング内線番号を設定すると、[名前 (Name)] フィールドの名前が「ラベル(Label)」に変更され、[番号 (Number)] フィールドの名前が「内線番号(Extension)」に変更されます。

#### 解決済みのバグ

問題	説明	回避策
CSCvj43314	シスコパートナーが取得するバックアップ失敗電子メール通知には、サイト名のみが含まれています。顧客名は含まれません。	—
CSCvm08973	Cisco Business Edition 4000 管理ポータルでは、ISDN スイッチタイプの BRI カードには、詳細ではなく、L1 および L2 ステータスが「--」として表示されます。	—

#### 2018年10月10日

- **Cisco Business Edition 4000** 管理ポータルダッシュボードには新しいルックが表示されています。

1人の顧客に属するすべての BE4000 サイトは、顧客名の下にグループ化され、折りたたまれます。折りたたまれたビューでは、シスコパートナーが顧客サイトを表示および管理

するのが容易になります。デフォルトでは、ダッシュボードには顧客サイトの折りたたまれたビューが表示されます。

展開されたビューでは、[ **Customer Name** ] 列の見出しの左側にある  [(Show All Sites)] アイコンをクリックします。展開されたビューでは、すべての顧客名がそれぞれのサイトの詳細とともに表示されます。

折りたたまれたビューについては、 (すべてのサイトを非表示にする) をクリックします

また、個々の顧客の行をクリックして、その顧客に関連付けられているすべてのBE4000サイトの詳細を表示または非表示にすることもできます。

Release Update : New portal features have been released. Please visit the Release Notes for all the details.

Cisco Cisco Users Help John Admin

Customers  Refresh Edit Columns Add Customer

Customer Name	Location	Status	Serial Number	Phones	Last Change	Actions
Customer ABC	(1)					
Customer XYZ	(4) Hide sites ^					
	Chennai	Online	FLM1234X567	2 (2)	6d	...
	Australia	Configuration In Progress	--	--	--	...
	Peru	Ready to Deploy	--	--	--	...
	Brazil	Ready to Deploy	--	--	--	...

### • プライベート IP アドレス範囲を追加する機能

電話のプロビジョニングに使用される IP アドレスは、RFC 1918 (10.0.0.8/16、172.16.0.0/12、192.168.0.0/16) で許可されている必要があります。電話のプロビジョニングに使用される IP アドレスが、RFC 1918 で許可されている IP アドレス以外の場合、電話機のプロビジョニングは失敗します。このような電話機のプロビジョニングの問題を回避するには、[ **プライベート IP 範囲 (Private ip range)** ] ページで ip アドレスを入力する必要があります。X.x.x.x 形式の個々の IP アドレス (ホストアドレス)、または x.x.x.x 形式の IP アドレス範囲 (サブネット) を追加することができます。x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x.x/n 形式

シスコパートナーは、[ **プライベート IP 範囲 (Private IP range)** ] ページの初期サイト展開時に IP アドレスを追加できます。ポストサイト展開では、シスコパートナーとカスタマー管理者の両方が、[ **サイトの管理 (Manage Site) > 設定 (Settings) > PRIVATE IP 範囲 (Private IP Ranges)** ] の下にプライベート IP アドレスを追加できます。

### • エンドユーザごとのボイスメール機能を有効または無効にする機能

シスコパートナーおよびお客様の管理者は、エンドユーザが電子メールの添付ファイルとしてボイスメールを受信することを有効または無効にすることができます。次のシナリオでは、[ **ENABLE VM To Email** ] チェックボックスが追加されています。

- パーソナルボイスメールボックスを使用した内線番号の追加

- パーソナル ボイスメール ボックスの追加
- パーソナル ボイスメール ボックスの変更
- パーソナルボイスメールボックスを使用したユーザの追加
- パーソナル ボイスメール ボックスを使用したユーザの変更



(注) **[Enable VM to Email]** チェックボックスがオンになっている場合にのみ、**[Enable Voicemail]** チェックボックスが利用できます。

• エンドユーザごとのメッセージ待機インジケータ (MWI) を有効または無効にする機能

メッセージ待機インジケータは、エンドユーザの電話機で点灯しているランプで、待機中のボイスメールメッセージを示します。

シスコパートナーおよびお客様の管理者は、エンドユーザの MWI を有効または無効にすることができます。**[Enable MWI]** チェックボックスは、次のシナリオで追加されます。

- パーソナルボイスメールボックスを使用した内線番号の追加
- パーソナル ボイスメール ボックスを使用した内線番号の変更
- パーソナルボイスメールボックスを使用したユーザの追加



(注) **[Enable MWI]** チェック ボックスは、**[Enable Voicemail]** チェック ボックスがオンになっている場合にのみ使用できます。

• 自動応答、ハント グループ およびシステム オペレータのページの変更

ページ	フィールド名	変更
自動音声応答	[ドロップスルー宛先 (drop from destination)] ドロップダウンリスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [ボイスメールへのルート] オプションの名前が「ボイスメールボックスへのルート」に変更されました。</li> <li>• 「Route to Group Mailbox」の名前が「Route to Group ボイスメールボックス」に変更されました。</li> <li>• [外線番号] オプションが削除されました。</li> </ul>

ページ	フィールド名	変更
システムオペレータ	[ターゲットタイプ]ドロップダウンリスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [ボイスメールへのルート] オプションの名前が「ボイスメールボックスへのルート」に変更されました。</li> <li>• [Route to Group Mailbox] オプションは、[Route to Group ボイスメールボックス]に名前が変更されました。</li> </ul>
ハントグループ	[メンバーがいない場合 (When No Member is available)] ドロップダウンリスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [Disconnect] オプションの名前が「Disconnect Call」に変更されました。</li> </ul>

#### 解決済みのバグ

問題	説明	回避策
504	Cisco Business Edition 4000 管理ポータルダッシュボード上の顧客サイトのリストに適用されるフィルタは、顧客サイトを変更しても維持されません。	—

## 2018年9月に導入された機能

### 2019年9月19日

#### • ハントグループのコールキューイング

BE4000 ハントグループのコールキューイングをサポートします。ハントグループ内のすべてのエージェントがビジー状態になると、いずれかのエージェントが解放されるまで、着信コールはキュー内で待機します。したがって、コールは切断されませんが、待機します。

コンフォートグリーンティングは事前に録音されたボイスメッセージで、発信者がキューで待機している間に再生できます。シスコパートナーおよびお客様の管理者は、コンフォートグリーンティングを繰り返す頻度を設定できます。有効な整数の範囲は 30 ~ 120 秒で、デフォルトは 60 秒です。したがって、コールキューイングは着信発信者の体験を強化します。



(注) コールキューイングはデフォルトで有効になっており、無効にすることはできません。

#### • Task Log

BE4000 過去62日間にサイトに加えられたすべての変更の履歴を記録します。詳細には、タスクの名前、タスクを実行したユーザ、タイムスタンプ および実行されたタスクのステータスが表示されます。シスコパートナーとカスタマー管理者の両方がタスクログを表示できます。タスクログは、問題のトラブルシューティングにも役に立ちます。

[ **サイトの管理 (Manage Site)** > **レポート (Reports)** > **タスク ログ (Task Log)** ] をクリックして、実行されたタスクのリストを表示します。ページ上部の使用可能なカレンダーを使用して日付範囲を選択します。トレースファイルを表示するには、[Actions]列の [ **View trace** ] をクリックします。



(注) タスクログには、最初のサイトの展開後にのみ実行されるタスクのリストが含まれています。

#### • **BE4000 オフライン電子メール通知**

BE4000サイトが「オフライン」状態に移行する30分後に、顧客の管理者に電子メール通知が送信されます。BE4000サイトが引き続き「オフライン」状態のままである場合は、24時間ごとに電子メール通知が送信されます。

BE4000サイトが意図的に「オフライン」状態になった場合は、電子メール通知が定期的受信されないように、サイトを「非アクティブ」としてマークすることをお勧めします。

サイトが [ **オンライン (Online)** ] 状態に戻ると、ただちに顧客の管理者に電子メール通知が送信されます。

#### • **NIM カード: FXO および FXS**

シスコパートナーおよびお客様の管理者は、FXO または FXS 回線を含むラインカードを編集しながら、「入力ゲイン」と「出力減衰」の値を指定できます。ポータルによって設定されるデフォルト値は、PSTN コールの声品質が良好であるために十分です。ただし、音声品質に問題がある場合は、「入力ゲイン」の値と「出力減衰」の値を変更して、音声品質を向上させることができます。

FXS または FXO 回線を含むラインカードを変更する際に、**入力ゲイン (db)** と **出力減衰 (db)** の2つの新しいフィールドが導入されました。



(注) ラインカードの追加時に、「**入力ゲイン (db)**」および「**出力減衰 (db)**」フィールドは使用できません。

#### • **ハント グループ**

最大20個のハント グループを設定できます。

#### • **内線番号**

新しいフィールド内線番号ラベルは、[サイトの管理 (Manage Site) > 内線番号(Extension) > 内線番号の修正(Modify Extension)] の下の [基本情報(Basic Info)] ページに追加されます。このフィールドは、内線番号の変更時にのみ表示されます。

内線番号ラベルは、内線番号に関連付けられているテキストです。内線番号ラベルに追加されたテキストが[回線]ボタンに表示されます。デフォルトでは、内線番号ラベルは表示名と内線番号の組み合わせとして使用されます。たとえば、表示名を「John」、内線番号を「3456」に追加すると、デフォルトの内線番号ラベルは「John-3456」になります。

- リカバリコード

パートナーの登録中に、回復コードページはリカバリコードに名前が変更されます。

- 設定の概要

電子メールで設定の概要を送信するオプションが削除されます。設定の概要は PDF としてのみエクスポートできます。

### 解決済みのバグ

次のバグが解決されます。

問題	説明	回避策
1371	[設定の概要 (Configuration Summary)] ページに表示される設定の詳細は、リアルタイムではありません。これは、ボックスが最初に展開されたときの設定の詳細を示しています。ポストサイト展開の変更は、設定の概要には反映されません。	—

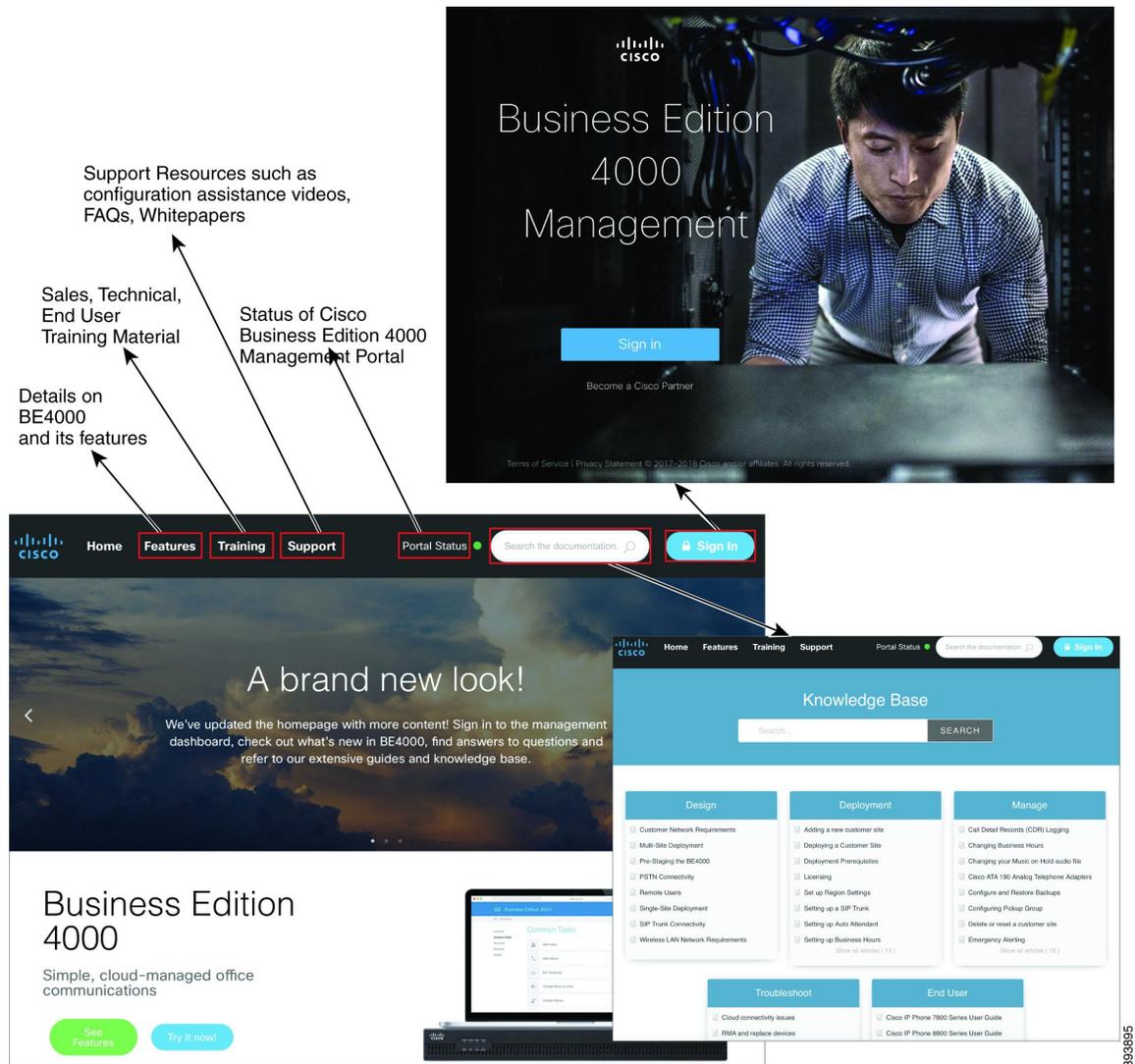
## 2018年8月に導入された機能

2018年8月21日

ランディング ページ (Landing Page)

<https://be4000.cisco.com/> 新しいルックがあります。

<https://be4000.cisco.com/> にアクセスすると、新しいページが表示されるようになりました。新しいランディングページは、BE4000に関連するすべての情報について、1つの停止シヨップです。以降では、新しいランディングページからのみCisco Business Edition 4000 管理ポータルアクセスできます。



新しいランディングページの利点は次のとおりです。

- 右上隅の [ Cisco Business Edition 4000 管理ポータルサインイン (Sign in) ] をクリックして、にログインします。
- [ BE4000ドキュメントの検索 (Search for documentation) ] 検索ボックスを使用して、関連する必要があるすべての情報を含むナレッジベースにアクセスします。
- BE4000とその機能については、[機能 (features) ] メニューから確認してください。
- ポータルステータスからCisco Business Edition 4000 管理ポータルのステータスを確認します。また、計画されたメンテナンス期間に注意し、それに応じて作業を計画してください。
- [トレーニング (Training) ] メニューから、販売、技術、エンドユーザのトレーニングにアクセスします。

- [サポート (Support)] メニューから、設定サポートのビデオ、Faq、ホワイトペーパー、パートナーコミュニティなどを使用してください。

### セットアップ アシスタント

次の機能は、シスコ パートナーのみが設定できます。



(注) 既存のすべての設定テンプレートが削除されます。[オンライン (Online)] 状態のサイトがある場合は、[アクション (Actions)] メニューから [テンプレートの作成 (Create template)] をクリックして、その設定をテンプレートとして保存することができます。

- 設定テンプレートは、パートナーレベルとカスタマーレベルの両方で作成できます。個人識別情報 (PII) は、設定テンプレートの一部として保存されません。パートナーレベルで保存されたテンプレートは、顧客レベルのデータと比較して、制限されたデータを持ちます。

カスタマーレベルの設定テンプレートは、外部パブリック IP アドレスを除き、**Setup Assistant wizard** に入力されたすべての情報を保存します。

パートナーレベルの設定テンプレートでは、**セットアップアシスタントウィザード**に入力された次の情報は保存されません。

- SMTP の詳細
  - ステーションの詳細
  - 自動応答オーディオファイル (保存されたテンプレートがロードされると、自動応答はデフォルトのプロンプトとともにロードされます)
  - 保留音オーディオ ファイル
  - +ダイヤルイン方式番号
  - ハント グループ内のメンバー リスト
  - 宛先による自動応答ドロップ
  - 着信コール マッピングの詳細
  - 発信コールマッピングの詳細
  - システム オペレータの詳細
  - ページング グループ
- BE4000 NIM カードで使用可能な FXS ポートでの Private Line Automatic Ringdown (PLAR) の設定をサポートします。PLAR は「Automatic Ringdown」とも呼ばれています。PLAR は、2 台の電話機間で専用の接続を作成します。PLAR で設定された電話機がオフフックになると、接続先の電話機は番号をダイヤルせずに自動的に鳴ります。

FXSポートを含むラインカードを追加または変更するときに PLAR を設定できます。[ **Type** ] ドロップダウンリストから [Automatic Ringdown] を選択し、plar と宛先電話の内線番号を入力します。回線を識別し、設定を保存するためのラベルを指定します。

- シングルナンバーリーチ (SNR) は、BE4000システム内部の番号を使用して設定することはできません。
- ハント グループのページには次の変更が加えられます。
  - [ **When No Member Is Available** ] ドロップダウンリストは、次のように更新されます。
    - 他へのルートが追加されます。
    - ハントグループへのルートが追加されます。
    - ボイスメールボックスへのルートが追加されます。
    - [ **Route to group Mailbox** ] オプションは、[ **route To Group** ] ボイスメールボックスに名前が変更されました。
    - [ **番号へのルート** ] オプションが削除されます。
  - **Member Timeout** フィールドが追加されました。
  - **最大待機時間** フィールドが削除されました。

## サイトの管理

シスコパートナーおよびお客様の管理者は、次の機能を設定できます。

- [サイトの管理 (Manage Site)] の下にある **パーソナルメールボックス** と **グループメールボックス** のオプションは、それぞれ **パーソナルボイスメールボックス** と **グループボイスメールボックス** に変更されます。
- **グループボイスメールボックスのプライマリ内線番号** は、外部回線のダイヤリング、インターコムコールの発信およびボイスメールへのコールの自動送信に使用される数字で開始することはできません。プライマリ内線番号は、既存の内線番号、自動応答パイロット番号、ハントグループパイロット番号およびページング番号と重複させることはできません。
- 電話機を再起動することはできません。 **Restart** オプションは、[ **サイトの管理 (Manage Site)** ] > [ **電話の修正 (Modify Phone)** ] の [ **アクション (Action)** ] 列から削除されます。電話機はリセットできません。
- 内線の追加または変更中に、[ **コール転送 (Call Forward)** ] ページの [ **夜間サービス (Night Service)** ] フィールドは、**cfns 番号** として名前が変更され、**追加設定** ページに移動します。[ **夜間サービスベル (Night Service Bell)** ] チェックボックスをオンにした場合のみ、[ **CFNS 番号 (CFNS Number)** ] テキストフィールドが表示されます。
- ハントグループの追加およびハントグループの変更ページには、次の変更が加えられます。

- **[When No Member Is Available]** ドロップダウンリストは、次のように更新されます。
  - 他へのルートが追加されます。
  - ハントグループへのルートが追加されます。
  - ボイスメールボックスへのルートが追加されます。
  - **[Route to group Mailbox]** オプションは、**[route To Group]** ボイスメールボックスに名前が変更されました。
  - **[番号へのルート]** オプションが削除されます。
- **Member Timeout** フィールドが追加されました。
- **最大待機時間** フィールドが削除されました。
- **[サイトの管理 (Manage Site) > トラブルシューティング (Troubleshooting)]** では、次の変更が行われます。

ページ	変更
コマンド表示 > 実行	[Choose Method] ドロップダウンリストの <b>[ Phone Number ]</b> オプションは、 <b>[ DID Translation ]</b> に名前が変更されています。
デバッグ > デバッグ を実行します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>[ Ccsip ]</b> チェックボックスの名前が <b>sip シグナリング</b> に変更されました。</li> <li>• <b>[ Cdapi ]</b> チェックボックスは、<b>コールルーティング</b> に名前が変更されています。</li> <li>• レポートを受信する電子メールの名前が変更され、レポートを受信するための電子メールが入力されます (カンマ区切り)。</li> </ul>

## 2018年8月1日

### セットアップアシスタント

次の機能は、シスコパートナーのみが設定できます。

- Cisco Business Edition 4000 管理ポータルログイン画面では、カーソルは **[ Enter 6 digit security code ]** テキストフィールドにデフォルトで配置されます。これにより、6桁の番号を入力する前にテキストフィールドを選択することが回避されます。
- 要件に基づいて「ページンググループ」を設定し、オーディオポケットベルをリレーするパイロット番号を定義できます。ページングは、ページングを受信するよう指定された電話機に対して一方向の音声パスを提供します。ページング先の電話機は、ミュートをアク

タイプにしたスピーカーフォン モードでページングに対して自動的に応答します。

「PageAll」グループを含めて、最大10個のページンググループを追加できます。

「PageAll」グループが編集可能になりました。「PageAll」グループからカスタムページンググループを追加または削除できます。必要に応じて、「PageAll」グループから特定の電話を除外することもできます。

- **[SIP トランク (SIP Trunk)]** ページには、次の注意事項が追加されています。

[プロバイダー テンプレート] からプロバイダーを選択するか、または [カスタム] を使用します。新しいプロバイダーをテンプレートとして追加したり、サポートを依頼したりするには、専用の **SIP サポートチーム** にお問い合わせください。TAC ケースは、お客様の支援をすることができないため、開かないでください。

- BE4000アプライアンスのシリアル番号を入力するためのガイドラインが <https://be4000.cisco.com/deploy> ページに追加されます。入力した値が優先形式でない場合、テキストフィールドは自動的にエラーとしてスローされます。推奨される形式は次のとおりです。

例: シリアル番号: FGU1234X12Y

11文字のシリアル番号では、最初の3文字は文字のみで、次の4文字は数字のみで、最後の4文字は、文字 O と I を除く数字と文字です。

- サポートされているブラウザで設定の変更を行っているときに Cisco Business Edition 4000 管理ポータルタブを閉じると、次のポップアップメッセージが表示されます。

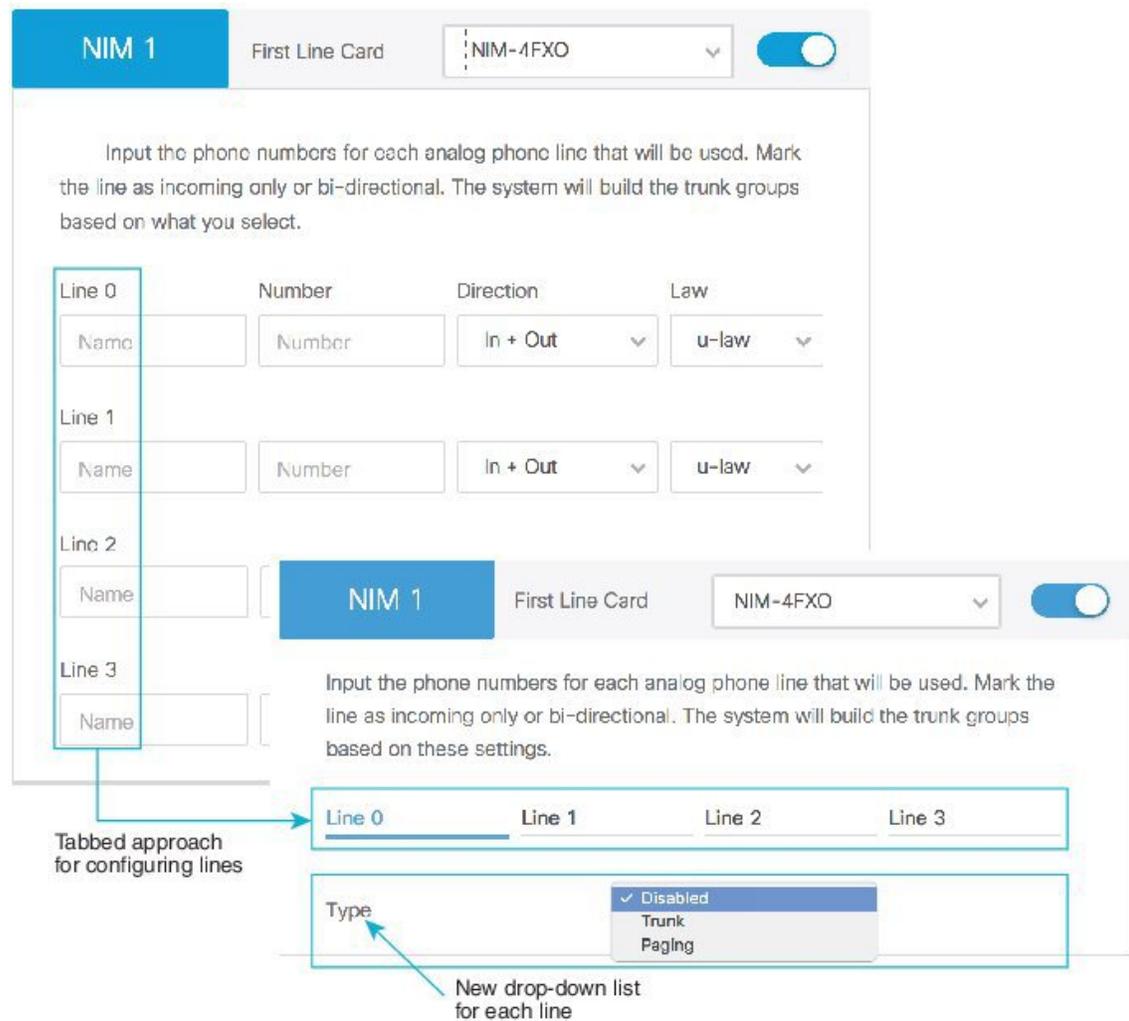
このページでは、入力したデータが保存されていない可能性があることを確認するように求められます。

[ページを表示 (Leave on page)] をクリックするか、設定に基づいてページを続けます。

- アカウントをリセットするためにリカバリコードを使用している間に表示されるテキストは、次のように rephrased ます。

リカバリコードを使用すると、作成した追加のすべての OTP アカウントが完全に削除されます。

- **[ライン カード (Line Cards)]** ページのロックアンドフィールドが変更されます。NIM カードを追加するときに、各行に個別のタブが表示されます。



- [タイプ (Type)] ドロップダウンリストは、[ラインカード (line card)] ページでサポートされているすべてのラインカードに追加されます。

NIM カード タイプ	[タイプ]ドロップダウンリストのオプション
<ul style="list-style-type: none"> <li>• NIM-2FXS</li> <li>• NIM-4FXS</li> <li>• NIM-2FXS/4FXO</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ディセーブル</li> <li>• アナログ電話機</li> <li>• ページング</li> <li>• Automatic Ringdown</li> </ul> <p>「Automatic Ringdown」は FXS 回線に対してのみ使用できます。</p>

NIM カード タイプ	[タイプ]ドロップダウンリストのオプション
<ul style="list-style-type: none"> <li>• NIM-2FXO</li> <li>• NIM-4FXO</li> <li>• NIM-2FXS/4FXO</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ディセーブル</li> <li>• トランク</li> <li>• ページング</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• NIM-2BRI-NT/TE</li> <li>• NIM-4BRI-NT/TE</li> <li>• NIM-1MFT-T1/E1</li> <li>• NIM-2MFT-T1/E1</li> <li>• NIM-4MFT-T1/E1</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ディセーブル</li> <li>• トランク</li> </ul>

- 「セットアップアシスタント(Setup Assistant)」の[ラインカード(Line Cards)]ページで使用可能なフィールドが、導入後の[ラインカード(Line Cards)]ページで使用可能なフィールドと同期されるようになりました。

次の変更が、セットアップアシスタントの[ラインカード (Line card)]ページの fxo 回線に関連するフィールドに対して行われます。

- 開始タイプドロップダウンリストが追加されます。

## サイトの管理

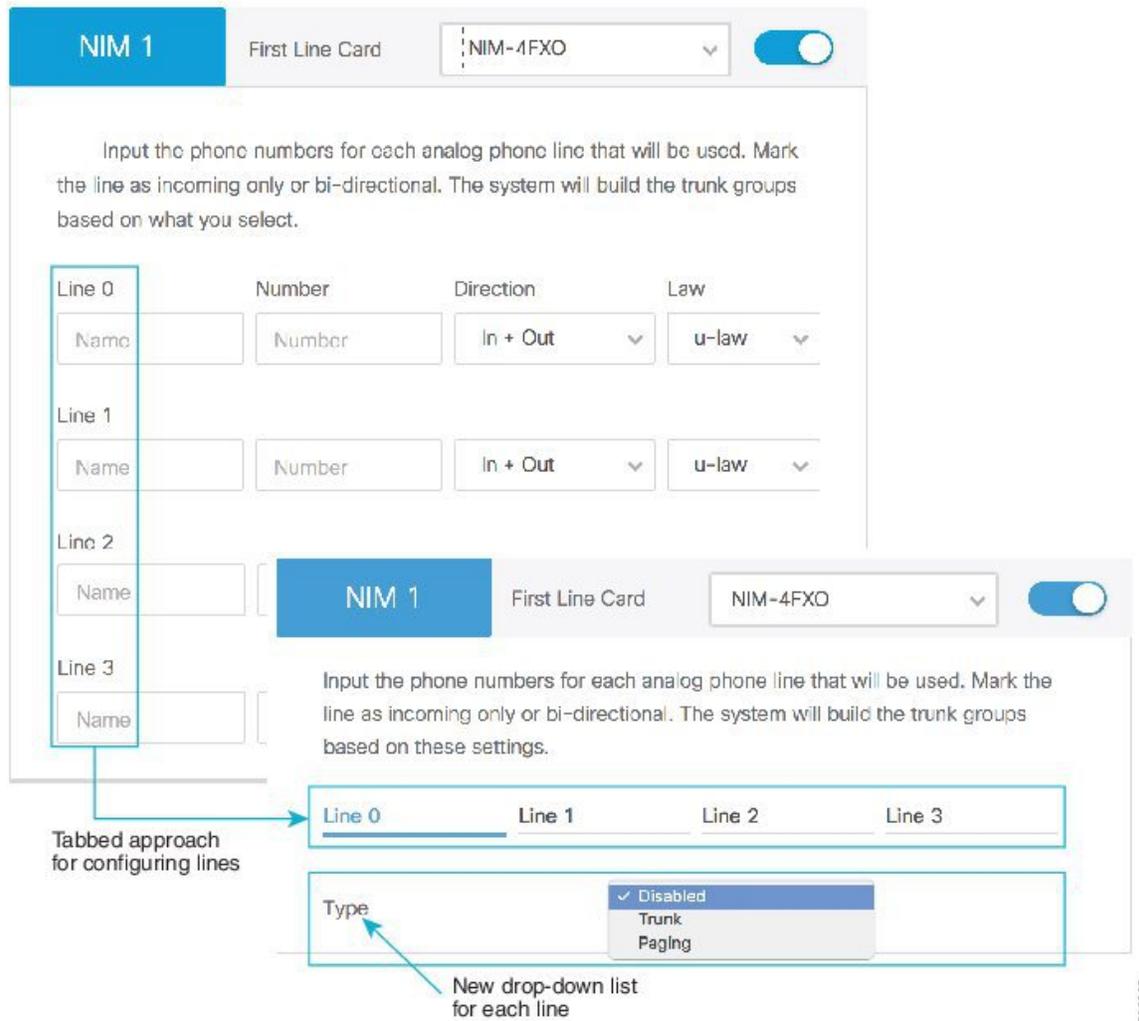
シスコパートナーおよびお客様の管理者は、次の機能を設定できます。

- BE4000に関連付けられているすべての電話機をリセットできます。[サイトの管理(Manage Site) > 電話 (Phones) > 電話の管理 (Manage Phones)] ページで [一括アクション > すべての電話のリセット > リセット] をクリックします。
- 要件に基づいて「ページンググループ」を設定し、オーディオポケットベルをリレーするパイロット番号を定義できます。ページングは、ページングを受信するよう指定された電話機に対して一方向の音声パスを提供します。ページング先の電話機は、ミュートをアクティブにしたスピーカーフォンモードでページングに対して自動的に応答します。  
「PageAll」グループを含めて、最大10個のページンググループを追加できます。  
「PageAll」グループが編集可能になりました。「PageAll」グループからカスタムページンググループを追加または削除できます。必要に応じて、「PageAll」グループから特定の電話を除外することもできます。  
[サイトの管理 (Manage Site) > ページンググループ] をクリックして、カスタム ページンググループを作成します。
- [サイトの管理 (Manage Site) > SIP トランク] ページには、次の注意事項が追加されています。

[プロバイダー テンプレート] からプロバイダーを選択するか、または [カスタム] を使用します。新しいプロバイダーをテンプレートとして追加したり、サポートを依頼したりするには、専用の [SIP サポートチーム](#) にお問い合わせください。TAC ケースは、お客様の支援をすることができないため、開かないでください。

- [サイトの管理 (Manage Site) > 電話 > 電話の変更] の下のボタンページを使用して、他の電話デバイスと内線番号を共有すると、[サイトの管理 > 内線番号 > 内線番号の修正 > 追加の設定] の下の [Shared Line] チェックボックスが自動的にオンになり、オフにできません。
- 次のページに移動すると表示されるブレッドクラムはクリック可能です。
  - 概要 > Reports > CDR Collection
  - 概要 > 設定 > ライセンス
  - 概要 > 設定 > システム設定
  - 概要 > Settings > System Restore
- [サイトの管理 (Manage Site) > 内線番号 > 内線番号の追加] の下にある [電話の追加] ページでトグルを無効にすると、次のヘルプ テキストを含むポップアップが追加されます。

内線番号は、内線 *Assigner* で使用できるように、最初に電話タイプに関連付けられている必要があります。今すぐ電話機を割り当てることをお勧めします。
- [ラインカード] ページのロックアンドフィールドが変更されます。NIM カードを追加するときに、各行に個別のタブが表示されます。



- [Type] ドロップダウンリストは、[サイトの管理 (Manage Site) > ラインカード > nim カードの追加] ページでサポートされているすべてのラインカードに追加されます。

NIM カードタイプ	[タイプ]ドロップダウンリストのオプション
<ul style="list-style-type: none"> <li>• NIM-2FXS</li> <li>• NIM-4FXS</li> <li>• NIM-2FXS/4FXO</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ディセーブル</li> <li>• アナログ電話機</li> <li>• ページング</li> <li>• Automatic Ringdown</li> </ul> <p>「Automatic Ringdown」は FXS 回線に対してのみ使用できます。</p>

NIM カード タイプ	[タイプ]ドロップダウンリストのオプション
<ul style="list-style-type: none"> <li>• NIM-2FXO</li> <li>• NIM-4FXO</li> <li>• NIM-2FXS/4FXO</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ディセーブル</li> <li>• トランク</li> <li>• ページング</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• NIM-2BRI-NT/TE</li> <li>• NIM-4BRI-NT/TE</li> <li>• NIM-1MFT-T1/E1</li> <li>• NIM-2MFT-T1/E1</li> <li>• NIM-4MFT-T1/E1</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ディセーブル</li> <li>• トランク</li> </ul>

- 「セットアップアシスタント」の[ラインカード]ページで使用可能なフィールドが、導入後の[ラインカード]ページで使用可能なフィールドと同期されるようになりました。
- [サイトの管理 (Manage Site) > ラインカード] ページの FXO 回線に関連するフィールドには、次の変更が加えられます。
- 方向ドロップダウンリストが追加されます。
  - [アウトバウンド (Outbound)] チェックボックスが削除されます。

## エンド ユーザ

エンド ユーザは次の機能を設定できます。

- Cisco IP 電話 8800 シリーズでは、新しい一連の壁紙と呼出音を使用できます。好みに応じて電話機の壁紙を変更できます。壁紙と呼出音を変更する手順の詳細については、『[Cisco Business Edition 4000 End User Guide](#)』（IP 電話 8800 シリーズおよび BE4000 Selfcare ポータル用）を参照してください。
- Cisco IP 電話 7800 シリーズでは、新しい呼出音のセットを使用できます。好みに応じて電話機の壁紙を変更できます。呼出音の変更の詳細な手順については、『[Cisco Business Edition 4000 End User Guide](#)』（IP 電話 7800 シリーズおよび BE4000 Selfcare ポータル用）を参照してください。



(注) カスタムの壁紙と呼出音をアップロードすることはできません。使用可能な壁紙と着信音のセットからのみ選択できます。

## 解決済みのバグ

次のバグが解決されました。

問題	説明	回避策
149	組織の追加サイトが作成されたときに、サイト名が正しく検証されません。ポータルは、同じ文字で始まるサイトを作成した場合に、その名前のサイトが存在することをユーザに求めます。	一意のサイト名を入力し、警告メッセージを無視します。
574	[インターコム] ボタン(電話機でデフォルトで設定されている)が削除されても、再び追加することはできません。電話機のボタンレイアウトの順序は、BE4000 ポータルで設定および適用されると変更される場合があります。	[インターコム] ボタンを追加するには、[サイトの管理 (Manage Site) > 電話] ページから電話を削除し、再度追加します。
751	[サイトの管理 (Manage Site) > 内線番号 > 内線番号の修正] ページで、ボイスメールをコール転送番号として設定するために、「ボイスメール」というテキストを入力することはできません。	ボイスメール番号 70300 を入力します。

## 2018年7月に導入された機能

2018年7月4日

### セットアップ アシスタント

次の機能は、シスコパートナーのみが設定できます。

- 自動応答ページでは、メニュードロップダウンリストによる繰り返し回数は、メッセージを再生する回数に変更され、ドロップダウンオプションから「0」が削除されます。
- [ダイヤル プラン (Dial Plan)] ページのダイヤルパターンの [設定 (Preference)] は、デフォルトで「SIPthenPOTS」に設定されています。コール緊急パターンの「Preference」は、デフォルトで「POTSthenSIP」に設定されています。
- [接続 (Connectivity)] ページの [isp (isp)] フィールドは、インターネットサービスプロバイダー (isp) に名前が変更され、次のツールチップが追加されます。

導入時にサービスプロバイダーの問題を特定するために技術者が使用するラベル

- [導入準備完了 (Ready to Deploy)] 状態のサイトを編集すると表示されるメッセージは、次のように更新されます。

編集用のサイト設定を準備しています。このタスクが完了するまで数分かかる場合があります。

### サイトの管理

シスコパートナーおよびお客様の管理者は、次の機能を設定できます。

- カスタム SMTP サーバ証明書をアップロードするには、[サイトの管理 (Manage Site) > 設定 > システム設定] の下の [smtp Server-Email 機能を有効にする] セクションを参照してく

ださい。[ **UPLOAD SMTP Server Certificate** ] フィールドは、[ **Security Mode** ] を [SSL] または [STARTTLS] として選択した場合にのみ表示されます。BE4000は、.crtファイル形式でのみ SMTP サーバ証明書を受け入れます。

- カスタマー管理者は、追加の顧客管理者を追加できます。メニュー  バーの [ **Admins** ] をクリックし、[ **Add Admin** ] をクリックします。名前、電子メールアドレス、連絡先番号を入力し、[ **保存(Save)** ] をクリックします。新しく追加された顧客管理者は、顧客BE4000組織に関連付けられているすべてのサイトを表示および変更できます。

お客様の管理者は、別のカスタマー管理者を削除できます。メニューバーの  [ **Admins** ] をクリックし、目的のカスタマー管理者に対応する [Action] 列から [ **Remove Admin** ] をクリックします。顧客の管理者が削除されると、BE4000サイトを表示および変更するための管理者権限も削除されます。



(注)

- シスコパートナーは、追加の顧客管理者を追加または削除することはできません。
- 顧客の管理者は、新たに追加された顧客管理者に特定のBE4000サイトを割り当てることはできません。

- 信頼できる IP アドレスリストのポストサイト展開を追加して変更することができます。[ **サイトの管理(Manage Site) > SIP トランク** ] ページの [ **Trusted List** ] をクリックします。
- 自動応答ページでは、メニュードロップダウンリストによる繰り返し回数は、**メッセージを再生する回数**に変更され、ドロップダウンオプションから「0」が削除されます。
- バックアップ失敗の電子メール通知は、サイトが [ **オンライン (Online)** ] 状態の場合のみ、顧客の管理者に送信されます。サイトがオフラインまたは非アクティブの場合、電子メール通知は送信されません。
- [ **サイトの管理(Manage Site) > 内線番号 > 内線番号の修正** ] の下の [ **不在転送** ] ページで、内線から同じ内線番号にコールを転送することはできません。

## エンド ユーザ

エンド ユーザは次の機能を設定できます。

- ユーザが異なる内線番号または共有回線と同じ内線番号に同じ電話機モデルを使用している場合、電話機のモデル番号の末尾には1、2、3などの数字が続きます。

例: John が 2 台の 8851 電話を所有していて (2 つの内線番号4501および4502に属している場合) は、Cisco Business Edition セルフケア ポータルの [ **My phone** ] セクションに [8851-1 and 8851-2] と表示されます。

## 解決済みのバグ

次のバグが解決されました。

問題	説明	回避策
1345	[自動応答 (Auto アテンダント)] ページのメニュードロップダウンリストを使用した繰り返し回数によって、メニューが正しく繰り返されることはありません。メニューは、設定されている数に従って再生され、繰り返しを考慮しません。たとえば、メニューを使用した繰り返し回数が2の場合、メニューは2回繰り返されますが、3回ではありません (1 original + 2 repeat)。	繰り返すのではなく、メニューを再生する回数を選択してください。たとえば、メニューを2回再生する場合は、[2]を選択します。

## 2018年6月に導入された機能

2018年6月14日

### セットアップアシスタント

次の機能は、シスコパートナーのみが設定できます。

- プロキシアドレス、発信プロキシアドレス および登録アドレスに入力する IP アドレスは一意である必要があります。ギガビット0/0/0 インターフェイス、ギガビット0/0/1 インターフェイス および SMTP サーバに割り当てられている IP アドレスと重複しないようにする必要があります。
- [ハントグループ] ページの [グループ名] フィールドでは、次のことのみが可能です。  
a～z、A～Z、0～9、- (ハイフン)、\_ (アンダースコア)

- [接続 (Connectivity)] ページの [SMTP サーバ-電子メールへのボイスメール機能を有効にする] セクションに、IP アドレスまたはドメイン名のフィールドに次のツールチップが追加されます。

パブリック SMTP サーバの完全修飾ドメイン名 (FQDN) のみを設定できます。BE4000は、インターネットを介してすべてのドメインネームシステム (DNS) の解決を処理するため、パブリック Fqdn のみが受け入れられます。たとえば、smtp.office365.com または smtp.gmail.com です。

- [セキュリティ (Security)] ページには、信頼できる IP アドレスに関する次の情報が追加されます。

少なくとも1つの信頼できる IP アドレスを追加する必要があります。BE4000は、着信 voip コールのリモート IP アドレスが信頼できる IP アドレスリストのアドレスと一致する場合にのみ、着信 VoIP (SIP) コールを受け入れます。サービスプロバイダーからプロキシ、発信プロキシ および登録のために提供された IP アドレスを入力します。ホスト名が使用されている場合は、IP アドレスを指定する必要があります。

[セキュリティ (Security)] ページの [信頼できる IP アドレス (Trusted IP Address)] フィールドには、次のツールチップが表示されます。

ホストアドレス (x.x.x.x) またはサブネット (x.x.x.x/nn) のいずれかを指定してください。

- ドロップダウンオプション「16」が [着信コールマッピング(Provider Send digits)] ドロップダウンリストの [すべてのディジット (All digits)] に変更されます。
- レジストラサーバには、最大98のクレデンシャルを追加できます。[レジストラ Server] ページでは、[Username and Password] フィールドと [Include DID] フィールドを含む最大98行を追加できます。

## サイトの管理

シスコパートナーおよびお客様の管理者は、次の機能を設定できます。

- BE4000 show および debug コマンドを実行できるようにすることにより、トラブルシューティングをサポートします。[サイトの管理(Manage Site)>トラブルシューティング]に移動し、show または debug コマンドに対応する [Run] をクリックします。

次のカテゴリに対して show コマンドを実行できます。

- SIP
  - Phone Number
  - 電話
  - TDM
  - ハント グループ
  - ダイヤルプラン

次の debug コマンドは、特定の期間 (5~30 分) で実行し、目的の電子メールアドレスに送信される出力ログを取得できます。

- Ccsip messages
  - 共有回線
  - VoIP
  - Vpm 信号
  - Voice Register Errors
  - Cdapi
  - プレゼンス
  - Isdn Q31
  - Voice Register Events
  - 音声登録セッションサーバ
- SMTP サーバのアドレスを検証するには、[サイトの管理(Manage Site)>設定>システム設定] ページの [smtp Server-Email 機能を有効にする] セクションを使用します。電子メールとしてボイスメールを受信するには、電子メールアドレスを入力する必要があります。SMTPサーバが、入力された電子メールアドレスからの電子メールの受信を許可している

ことを確認します。SMTPサーバアドレスが有効な場合は、ポータルに成功メッセージが表示され、設定された電子メールアドレスに送信された電子メールが表示されます。

- [サイト管理>ハントグループ>ハントグループの追加] および [サイト管理>ハントグループ>ハントグループの修正] ページの [名前] フィールドでは、次のもののみが許可されます。

a～z、A～Z、0～9、- (ハイフン)、\_ (アンダースコア)

- ドロップダウンオプション「16」は [ダイアルイン方式>着信コールマッピング] ページの [プロバイダー送信ディジット] ドロップダウンリストの [すべてのディジット] に名前が変更されています。
- [サイトの管理(Manage Site)>内線番号>内線番号の修正] ページの [表示名] フィールドの名前が「内線番号名」に変更されています。
- [概要 (>)] [システム設定 (System Settings)] ページの [SMTPサーバ-電子メールへのボイスメール機能を有効にする] セクションの [IPアドレス] フィールドまたは [ドメイン名] フィールドには、次のツールチップが追加されています。

パブリック SMTPサーバの完全修飾ドメイン名 (FQDN) のみを設定できます。BE4000は、インターネットを介してすべてのドメインネームシステム (DNS) の解決を処理するため、パブリック Fqdn のみが受け入れられます。たとえば、smtp.office365.com または smtp.gmail.com です。

### 解決済みのバグ

次のバグが解決されました。

問題	説明	回避策
1244	電話機の [ディレクトリの姓 (Directory > Last name)] の下の姓を使用して連絡先を検索すると、「レコードが見つかりません」というメッセージが表示されます。	「First Name」を使用して検索します。

## 2018年5月に導入された機能

2018年5月23日

### セットアップアシスタント

次の機能は、シスコパートナーのみが設定できます。

- ダイヤルプランのサポートは、次の国で使用できます。
  - ブルガリア
  - ルクセンブルク

- ダッシュボードの右上隅にあるヘルプアイコン「？」は「？」に変更されます。ヘルプを参照してください。[?]の下のメニューオプションヘルプセンター[ヘルプ]がサポートセンターに変更されました。
- [Dial Plan > System Settings] ページの [ **Advanced** ] オプションの [on] と [off] の切り替えは削除されます。
- [ステーション (Station)] ページの [ **表示名 (Display Name)** ] フィールドには最大12文字を入力できます。

### サイトの管理

シスコ パートナーおよびお客様の管理者は、次の機能を設定できます。

- 内線番号とユーザの追加時に表示される [ **電話の追加 (Add Phone)** ] ページのオンとオフの切り替えは、デフォルトでオンになっています。
- テキスト「SNR」のすべての参照は、「シングルナンバーリーチ (SNR)」に変更されます。ツールチップは、[サイトの管理(Manage Site)> 内線番号> 内線番号の追加] ページの [ **発信者番号ローカル** ] フィールドと [ **リング停止** ] フィールドに追加されます。
- [サイトの管理 (Manage Site) > ユーザ管理 > ユーザの修正] ページの [ **First name** ] フィールドと [ **Last name** ] フィールドを編集できます。
- [Add Phone > 基本情報(Basic Info)] ページと [Modify Phone > 基本情報(Basic Info)] ページの [ **Device Name** ] フィールドには最大12文字を入力できます。

### 解決済みのバグ

次のバグが解決されました。

問題	説明	回避策
605	セットアップアシスタントの [ <b>ステーション (station)</b> ] ページでは、2つの異なるユーザに対して同じシングルナンバーリーチ (snr) 番号を入力することはできません。	—
685	[ <b>サイトの管理(Manage Site) &gt; 電話 &gt; 電話の修正</b> ] の下の <b>ボタン</b> ページで短縮ダイヤルを設定しているときに先頭に入力されたゼロがオフになっています。	—

### 2018年5月8日

#### セットアップアシスタント

次の機能は、シスコ パートナーのみが設定できます。

- 自動応答の閉じたメニューのサブメニューを追加できます。[ **Auto アテンダント > Closed** ] メニューページの [ **Add Menu Option** ] ドロップダウンリストから、**サブメニュー** を選択します。

- [営業時間 (Business Hours)] ページでは、現在の年および1年前にのみ祝日を追加できます。
- ユーザのパーソナルメールボックスに到達し、システムオペレータに到達した後、発信者がゼロ (0) をダイヤルできるようにすることができます。システムオペレータ番号は、次のいずれかになります。
  - 内線番号へのルート - サイトに設定されているすべての内線番号。
  - ボイスメール ボックスへのルート (Route to ボイスメールボックス): 任意の内線番号のボイスメール。
  - ハント グループへのルート - サイトに設定されている任意のハント グループ。
  - [グループ ボイス メールへのルート (Route to Group ボイスメールボックス)]: サイトに設定されている任意のグループ ボイスメール ボックス。
  - パイロット番号へのルート - 自動応答パイロット番号などのパイロット番号。
- 自動応答管理設定にログインするための番号として、ダイヤルイン方式 (DID) を割り当てることができます。たとえば、カスタマー管理者 (または「PromptAdministrators」権限を持つエンドユーザ) は、DID、1 415 555 1000 を設定して、自動応答管理者設定にログインできます。したがって、70397をダイヤルして自動応答管理設定に到達する代わりに、DID 番号 1 415 555 1000 をダイヤルできます。

[Target Type] ドロップダウンリストから [ auto ] を選択し、[ auto アテンダント] ページの [target Number] ドロップダウンリストから [グリーティング Admin] を選択します。

## サイトの管理

シスコ パートナーおよびお客様の管理者は、次の機能を設定できます。

- SIP トランクポストサイト展開を追加または削除できます。SIP トランクを追加または削除するには、[サイトの管理(Manage Site) > SIP トランク] をクリックします。



(注)

- SIP トランクの設定を変更することはできません。SIP トランクの追加または削除のみを行うことができます。
- サイトごとに追加できる SIP トランクは1つだけです。

- 自動応答の閉じたメニューのサブメニューを追加できます。[サイトの管理(Manage Site) > 自動応答 > 閉じたメニュー] ページの [メニューオプションの追加] ドロップダウンリストから、サブメニューを選択します。
- 祝日は、[サイトの管理(Manage Site) > 営業時間] ページの [営業時間] ページで、現在の年および1年後にのみ設定できます。

- ユーザのパーソナルメールボックスに到達し、システムオペレータに到達した後、発信者がゼロ (0) をダイヤルできるようにすることができます。システムオペレータ番号は、次のいずれかになります。
  - 内線番号へのルート - サイトに設定されているすべての内線番号。
  - ボイスメールボックスへのルート (Route to ボイスメールボックス): 任意の内線番号のボイスメール。
  - ハントグループへのルート - サイトに設定されている任意のハントグループ。
  - [グループボイスメールへのルート (Route to Group ボイスメールボックス)]: サイトに設定されている任意のグループボイスメールボックス。
  - パイロット番号へのルート - 自動応答パイロット番号などのパイロット番号。
- 自動応答管理設定にログインするための番号として、ダイヤルイン方式 (DID) を割り当てることができます。たとえば、カスタマー管理者 (または「PromptAdministrators」権限を持つエンドユーザ) は、DID、1 415 555 1000 を設定して、自動応答管理者設定にログインできます。したがって、70397をダイヤルして自動応答管理設定に到達する代わりに、DID 番号 1 415 555 1000 をダイヤルできます。

[Target Type] ドロップダウンリストから [ auto ] を選択し、[ auto アテンダント ] ページの [target Number] ドロップダウンリストから [グリーティング Admin ] を選択します。

### 解決済みのバグ

次のバグが解決されました。

問題	説明	回避策
708	自動応答の閉じたメニューには、サブメニューオプションを設定できません。	—
784	次の値は、テンプレートに保存されている場合でも、保存されたサイトテンプレートから設定を復元する際には保存されません。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 自動応答ページでの「オペレーター内線番号」。</li> <li>• [発信発信者 ID (Outbound Caller ID )] ページの [デフォルトアウトバウンド DID (Default Outbound DID)]。</li> <li>• DID が割り当てられていない内線番号</li> <li>• [着信コール マッピング] ページで設定された FXO カードのターゲット番号。</li> </ul>	フィールドに適切な値を手動で選択します。

## 2018年4月に導入された機能

2018年4月11日

### セットアップアシスタント

次の機能は、シスコパートナーのみが設定できます。

- ダイヤルプランのサポートは、次の国で使用できるようになりました。
  - ボリビア
  - クロアチア
  - キプロス
- [自動応答 (Auto アテンダント)] ページには次の変更が加えられます。
  - [ドロップスルー宛先 (drop from destination)] ドロップダウンリストが追加されます。「ドロップスルー宛先」は、定義された繰り返し回数のメニューを再生した後も、発信者がアクションを実行しない場合にコールがどの場所に位置するかを定義します。次のいずれかをドロップスルー宛先として設定できます。
    - [内線]: すべての内線番号がドロップダウンに表示されます。
    - ボイスメールへのダイレクト: 「ボイスメール」が有効になっているすべての内線番号がドロップダウンに表示されます。
    - ハントグループ: すべてのハントグループがドロップダウンにリストされます。
    - [グループメールボックス]: すべてのグループメールボックスがドロップダウンに表示されます。




---

(注) (セットアップアシスタントの) 最初のサイトの展開中に、ドロップダウンにオプションが表示されます。このオプションは、[ハントグループ] ページでグループメールボックスを作成した場合のみ、[ **When No Member is Available** ] ドロップダウンリストから [Route to Group mailbox] を選択することで表示されます。

---

- 外線番号: BE4000からの発信コールをトリガーします。番号を入力するときに、外線番号をダイヤルするためのリードディジットが追加されていることを確認します。




---

(注) 自動応答を介して発信コールを発信すると、BE4000が電話料金の詐欺行為に合う場合があります。

---

- [コールを切断 (Disconnect call)]: コールが切断されます。

- [タイムアウト (Time Out)] ドロップダウンリストは、[メニューを使用した繰り返し回数] に名前が変更されます。「メニューを使用した繰り返し回数」は、コールが宛先に到達する前に発信者に対してメニュー オプションを再生する回数を定義します。
- [オペレーター内線] ドロップダウン リストが削除されます。
- ハント グループには、スタティック メンバーとダイナミック メンバーの両方を設定できます。スタティック メンバーは、ハント グループに属するパーマネント メンバーです。ダイナミック メンバーはパーマネント メンバーではありませんが、電話機で使用可能なソフトキーを使用して、必要に応じてハントグループに参加したり、脱退したりすることができます。シスコ パートナーまたはカスタマー管理者は、ハントグループで許可されるダイナミック メンバーの数を定義できます。



(注) ハントグループ内のメンバーの合計数(スタティックメンバーとダイナミックメンバーを含む)は、32を超えることはできません。

- ソフトウェア アップグレード用に USB を使用してサイトを展開する場合、次のメッセージが表示されます。

When	メッセージ
USB が検出されませんでした	USB ディスクが検出されませんでした。BE4000 Cloud Portal から更新をダウンロードしています
USB が検出されましたが、1つ以上のファイルが期限切れになっています	Warning! USB ディスクが検出されました。1つ以上のファイルが期限切れか、または欠落しています。BE4000 Cloud Portal から不足している更新をダウンロードしています
USB が検出され、USB 上のすべてのファイルが最新のものになります。	USB ディスクが検出されました。USB ディスクから更新をローカルにコピーしています

### サイトの管理

シスコ パートナーおよびお客様の管理者は、次の機能を設定できます。

- BE4000 コール詳細レコード (CDR) を生成できます。CDR レポートは、特定の日付範囲のカスタマーサイトごとに行われた、成功した着信および発信外部コールに基づいて生成されます。CDR で収集される情報には、各コールの発信者番号、着信番号、時間 および期間が含まれます。[ **サイトの管理 (Manage Site) > レポート > CDR 収集** ] をクリックし、[ **Collect Call Detail Records** ] をオンにします。CDR レポートを表示するには、[ **サイトの管理 (Manage Site) > レポート > 通話詳細記録** ] をクリックします。

- BE4000 緊急通報アラートをサポートします。組織内から発信されたコールを、(911)などの特定の外線番号にモニタできます。モニタする外線番号と、通知を受信する電子メールアドレスを入力できます。[ **サイトの管理 (Manage Site)** > **レポート** > **CDR 収集** ] をクリックし、[ **Collect Call Detail Records** ] をオンにします。モニタする番号と、指定された番号がダイヤルされたときに通知を受信する電子メールアドレスを入力します。
- BE4000 を使用して、Cisco ATA 190 アナログ電話アダプタを設定できます。



(注)

- Cisco ATA アナログ電話アダプタは、ポストサイト展開にのみ追加できます。サイトの初期展開時に追加することはできません。
- Cisco ATA アナログ電話アダプタは、[ **サイトの管理 (Manage Site)** > **電話** ] の下にのみ追加できます。[ **サイトの管理 (Manage Site)** > **外線番号** および **サイトの管理 (Manage Site)** > **ユーザ管理** ] で Cisco ATA アナログ電話アダプタを追加することはできません。
- ファクスが送信されると、ファクスコールは音声のみのコールにフォールバックしません。
- 次の機能はサポートされていません。
  - ページング
  - Single Number Reach (SNR)
  - 短縮ダイヤル

- BE4000 フラッシュには 2 GB 以上の空き領域が必要です。使用可能な空き領域が 2 GB 未満の場合、ソフトウェアのアップグレードが失敗し、次のエラーメッセージが表示されます。

展開に失敗しました。ソフトウェアアップグレードを完了するための十分なスペースがありません。調査するには *Cisco TAC* までお問い合わせください。

- 展開ステータスメッセージは、問題の読み取りと識別が容易になるように強化されています。導入プロセスは、次の主要な手順に分かれています。

1. 設定の構築
2. Reachability
3. 検証
4. アップグレード
5. プロビジョニング
6. インベントリ

## 7. Done

- 次のカードのカードタイプ T1 PRI を E1 PRI または E1 pri から T1 PRI に変更できます。
  - NIM-1MFT-T1/E1
  - NIM-2MFT-T1/E1
  - NIM-4MFT-T1/E1




---

(注) カードタイプを変更すると、BE4000アプライアンスのリロードが開始されます。この変更の間、電話システムは数分間ダウンします。

---

## 2019年3月に導入された機能

2018年3月21日

### セットアップ アシスタント

次の機能は、シスコ パートナーのみが設定できます。

- ハント グループのパイロット番号を既存の内線番号と同じにすることはできません。また、ボイスメールにコールを自動的に送信したり、インターコムコールを発信するために使用される数字から開始したりすることはできません。

### サイトの管理

シスコ パートナーおよびお客様の管理者は、次の機能を設定できます。

- 新しい NIM カードを追加したり、既存の NIM カードポストサイト展開を編集したりする際に、トレースファイルを表示および電子メールで送信できます。トレースファイルを表示するには [ **View Trace log** ] をクリックし、次に [ **email** ] をクリックして、トレースログを電子メールアドレスに送信します。
- ハント グループのパイロット番号を既存の内線番号と同じにすることはできません。また、ボイスメールにコールを自動的に送信したり、インターコムコールを発信するために使用される数字から開始したりすることはできません。
- ボイスメールにコールを自動的に送信するように設定されているディジットを変更できません。[ **Settings > System settings** ] ページの [ **Dial Plan Settings** ] の下にある [ **Send to ボイスメール自動 (Send to ボイスメール自動)** ] ドロップダウンリストから数字を選択します。
- [ **Manage Line card** ] ページの「L1 status」および「ISDN Switch Type」のラベルの詳細は、「**Show**」という名前に変更されます。

## 2018年2月に導入された機能

2018年2月28日

### セットアップアシスタント

次の機能は、シスコパートナーのみが設定できます。

- 次の電話機は、BE4000を使用してプロビジョニングできます。
  - Cisco IP 会議用電話 7832
  - Cisco IP 会議用電話 8832
  - Cisco ワイヤレス IP 電話 8821\*

\*: 信頼性とパフォーマンスを確保するために、ワイヤレス LAN は、『[Cisco ワイヤレス IP 電話 8821 および 8821-EX ワイヤレス Lan 導入ガイド](#)』に記載されている要件を満たしている必要があります。

- [ダイヤル プラン (Dial Plan)] ページには次の変更が加えられます。
  - ダイヤル プランに属するダイヤリング パターンの制限クラスを設定できます。COR 列のドロップダウン リストから、次のいずれかのオプションを選択します。
    - call-emergency
    - call-internal
    - call-toll-free
    - call-local
    - call-local-plus
    - call-national
    - call-national-plus
    - call-international
  - ダイヤル プランに属する選択したダイヤリング パターンのプリファレンスを設定できます。Preference 列のドロップダウン リストから、次のいずれかのオプションを選択します。
    - POTSthenSIP
    - SIPthenPOTS
    - SIPOnly
    - POTSthenSIP
- [ラインカード (Line card)] ページに表示される回線(またはポート)の番号付けは、物理ラインカードで使用可能な番号と同期しています。たとえば、NIM-2FXO カードを追加する

前に、[ラインカード] ページに「line 1」と「line 2」と表示されます。ここで、ページに「Line 0」と「Line 1」が表示されます。これは、物理 NIM-2FXO カードで使用可能な番号と同期しています。

- 外線番号をダイヤルし、ボイスメールに自動的にコールを送信し、インターコム内線番号をダイヤルするための一意の数字を選択します。[ **System Settings** ] ページで、[Dial an 外線]、[Send To ボイスメール] および [インターコム] フィールドのドロップダウンリストから一意の数字を選択します。
- **SIP** トランクの設定には、次の変更が加えられます。

ページ	フィールド名	変更	その他の情報
プロキシの設定	プロキシアドレスとポート	「プロキシアドレス」に名前を変更しました。	サービスプロキシの IP アドレス、完全修飾ドメイン名、またはドメイン SRV を入力します。
	ポート番号	「プロキシポート」に名前を変更しました。	オプション。プロキシの IP アドレスを指定している場合は、必要に応じて非標準の SIP ポートを指定することもできます。ポート 5060 を使用する場合は空白のままにします。
	アウトバウンドプロキシアドレスとポート	「アウトバウンドプロキシアドレス」に名前を変更しました。	サービスアウトバウンドプロキシが使用されている場合は、IP アドレス、完全修飾ドメイン名、またはドメイン SRV を入力します。
	ポート番号	「アウトバウンドプロキシポート」に名前を変更しました。	オプション。発信プロキシの IP アドレスを指定した場合は、必要に応じて非標準の SIP ポートを指定することもできます。ポート 5060 を使用する場合は空白のままにします。

ページ	フィールド名	変更	その他の情報
プロキシ設定 > 詳細オプション	ファクス送信プロトコル	次のドロップダウンオプションが追加されました。  <ul style="list-style-type: none"> <li>• T. 38 は G.711 u 法にフォールバックします。</li> <li>• T. 38 は G.711 a 法にフォールバックします。</li> </ul>	—
	Min-SE	新しいテキストボックスが追加されます。	最初の <code>invite</code> で送信されたセッション有効期限パラメータの最小値を入力します。範囲は 90 ~ 86400 秒です。SIP サービスプロバイダーからの指示がない限り、デフォルト値の 90 秒を使用する必要があります。
	セッションの期限切れ	新しいテキストボックスが追加されます。	セッションの最長期間（秒単位）を入力します。コール中、セッションの有効期限は、ここで入力した値に基づいて定期的に更新されます。範囲は 90 ~ 86400 秒です。プロバイダーからの指示がない限り、デフォルト値の 1800 秒を使用する必要があります。
	オプションの PING	新しいトグルが追加されました。	失敗した場合に、可能であれば、トラフィックを再ルーティングできる SIP サービスの可用性のモニタを有効にします。
	サービスのアップ間隔		

ページ	フィールド名	変更	その他の情報
		新しいテキストボックスが追加されます。[Options Ping] トグルが有効になっている場合にのみ表示されます。	サービスがアップしているを見なされている間に、送信されるオプションパッケージの間隔を入力します。範囲は5～1200秒です。デフォルト値は60秒です。
	サービスダウン間隔	新しいテキストボックスが追加されます。[Options Ping] トグルが有効になっている場合にのみ表示されます。	サービスがダウンしているを見なされている間に、送信されるオプションパッケージの間隔を入力します。範囲は5～1200秒です。デフォルトは30秒です。
	Retries	新しいテキストボックスが追加されます。[Options Ping] トグルが有効になっている場合にのみ表示されます。	サービスが使用できな見なされるまでに許可される不在応答の数を入力します。指定できる範囲は1～10です。デフォルトは5です。

ページ	フィールド名	変更	その他の情報
レジストラ サーバ	DHCP 経由で設定します	新しいラジオボタンが追加されました。	クリックして、DHCPの詳細を入力して、登録サーバを設定します。
	アドレスとポートの設定	新しいラジオボタンが追加されました。	クリックして、IPアドレスとポートを入力して、レジストラサーバを設定します。
	登録アドレスとポート	「レジストラアドレス」に変更	サービスレジストラのIPアドレス、完全修飾ドメイン名、またはドメインSRVを入力します。
	ポート番号	「レジストラポート」に名前を変更しました	オプション。レジストラにIPアドレスを提供した場合は、必要に応じて非標準のSIPポートを指定することもできます。ポート5060を使用する場合は空白のままにします。
	Authentication Realm	新しいテキストボックスが追加されます。	サービスプロバイダーによる登録に使用する認証レルムを入力します。レジストラアドレスまたはDHCPが設定されている場合は必須です。

### サイトの管理

シスコパートナーおよびお客様の管理者は、次の機能を設定できます。

- 次の電話機は、BE4000を使用してプロビジョニングできます。
  - Cisco IP 会議用電話 7832
  - Cisco IP 会議用電話 8832
  - Cisco ワイヤレス IP 電話 8821\*

\*: 信頼性とパフォーマンスを確保するために、ワイヤレス LAN は、『Cisco ワイヤレス IP 電話 8821 および 8821-EX ワイヤレス Lan 導入ガイド』に記載されている要件を満たしている必要があります。

- [ラインカードの管理] および [ラインカードの追加] ページに表示されるポート番号は、物理ラインカードで使用可能な番号と同期しています。たとえば、以前は NIM-2FXO カードに表示されるポート番号は「Line 1」と「Line 2」でした。今は、ページに「Line 0」と「Line 1」が表示されます。これは、物理 NIM-2FXO カードで使用可能な番号と同期しています。

### 解決済みのバグ

次のバグが解決されました。

問題	説明	回避策
130	[ <a href="https://be4000.cisco.com/deploy">https://be4000.cisco.com/deploy</a> ] ページでは、GE0/0/0 と GE0/0/1 の両方を接続することを推奨します。ただし、be4000 アプライアンスは GE0/0/1 を使用するように設定されておらず、そのポートにケーブル接続は必要ありません。	表示された詳細を無視し、展開を続行します。
374	セットアップアシスタントの SIP トランク クレデンシャルは、次のもののみを受け入れます。 0-9 a-z A-Z ! # % , - . / = _ ? SIP プロバイダーが、上記に記載されているもの以外の特殊文字を含む SIP トランクに対して自動生成されたパスワードのみを許可する場合、クレデンシャルを入力することはできません。	許可された文字を含むパスワードについては、サービスプロバイダーにお問い合わせください。

### 2018年2月7日

#### セットアップアシスタント

次の機能は、シスコパートナーのみが設定できます。

- ダイアルプランのサポートは、次の国で使用できるようになりました。
  - Kuwait
  - マルタ
  - カタール
  - 南アフリカ
- BE4000管理ポータルに初めてログインする場合は、概要ビデオを視聴する必要があります。このビデオには、サイトのBE4000設定、導入および管理の方法に関する情報が含ま

れています。完全なビデオを視聴した後にのみ、BE4000サイトを追加または編集できます。

- バナーは、ポータルの新機能と最近の更新を通信するために画面の上部に表示されます。バナーは、閉じるまで画面に表示されたままになります。
- 事前設定された SIP プロバイダー テンプレートが CenturyLink に使用できるようになりました。[サービス設定] ページの [プロバイダーテンプレート] ドロップダウンリストから、[CenturyLink] を選択します。
- ハント グループのページには次の変更が加えられました。

フィールド	変更
ハントにアクセスする番号	「パイロット番号」に変更
[キューで許可されている最大発信者数 (Max Number of Callers Allowed in Queue) ]	削除
[ハント グループ サマリー] テーブルの [内線番号 (Extension)] 列	「パイロット」に名前変更
メンバーが使用できない場合は、次のオプションボタンが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 切断</li> <li>• グループ メールボックスへのルート</li> <li>• 番号へのルート</li> </ul>	ドロップダウンリストに変更しました。

## サイトの管理

シスコ パートナーおよびお客様の管理者は、次の機能を設定できます。

- 顧客の管理者の電話番号ポストサイト展開を追加または編集できます。電話番号を追加または編集するには、[サイトの管理 (Manage Site)] の [連絡先情報(Contact Information)] をクリックします。
- [サイトの管理 (Manage Site)] の下の [ハント グループ(Hunt Groups)] ページには、次の変更が加えられました。

フィールド	変更
2番目のパイロット番号	削除
優先順位	削除
統計を収集します	削除

フィールド	変更
説明	削除
電話機のディスプレイ	削除
タイムアウト	名前が「最大待機時間 (10-60000 秒)」に変更されました。
内線番号リスト	「Member List」に変更
最終的な番号	「利用できるメンバーがいない場合」に名前が変更されました
ハントグループの要約テーブル	<ul style="list-style-type: none"> <li>「Secondary」、「Preference」および「Collect Stats」列が削除されます。</li> <li>「内線番号リスト」の名前が「メンバーリスト」に変更されました。</li> </ul>

#### 解決済みのバグ

次のバグが解決されました。

問題	説明	回避策
449	展開後のサイトに表示される設定の概要 (ダッシュボード、アクション>設定の概要)が正しくありません。	—
616	100を超えるユーザをアップロードすると、セットアップアシスタントの [ステーション (station)] ページがクラッシュします。	—
619	アプライアンスがオフラインになったり、BE4000BE4000オンラインに戻ったりすると、デバイスステータスがポータルに反映されるまでの時間が長くなります。	—
825	初期サイト展開 (セットアップアシスタント内) およびポストサイト展開時に作成されるハントグループのデフォルトパラメータは異なります (サイトの管理>ハントグループの下)。	—
984	ソフトウェアアップグレードの前に電話機で点滅していたメッセージ待機インジケータ (MWI) は、ソフトウェアアップグレード後に点滅を停止します。	—

問題	説明	回避策
1001	SNR または不在転送のいずれかの内線番号が有効になっている場合、SNR モバイルまたは転送されたコールを受信した電話機に表示される発信者IDが正しくありません。	—
1044	[サイトの管理(Manage Site)] で NIM カードのポストサイト展開を追加または編集するときに、自動応答パイロット番号がFXOポートの内線番号リストの下に表示されません。	—
1059	メキシコのダイヤルプランを使用すると、BE4000サイトの展開が失敗します。	—

## 2018年1月に導入された機能

### 2018年1月18日

#### セットアップ アシスタント

次の機能は、シスコ パートナーのみが設定できます。

- BE4000 supports 返品許可 (RMA) に対応。障害が発生したBE4000 アプライアンスを新しいものに置き換えることができます。障害が発生したアプライアンスの設定は、新しいアプライアンスに復元できます。
- セットアップアシスタントは、[サービス設定 (Service Settings)] ページの [プロバイダー テンプレート (provider template)] ドロップダウンリストから選択した Sip サービスプロバイダーテンプレートに基づいて、sip トランク関連のフィールドを動的にロードします。
- [Static TEI] フィールドが [ラインカード] ページに追加されます。
- [テンプレートの提供 (to Template)] ドロップダウンリストから [カスタム (Custom)] を選択すると、SIP トランクの設定ページに次の変更が加えられます。

ページ	変更
インターフェイスの設定	[ネームサーバ] フィールドは必須ではありません

ページ	変更
Proxy Server	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [ユーザ名 (Username)] フィールドは必須ではありません</li> <li>• [パスワード (Password)] フィールドは必須ではありません。「ユーザ名」が指定されている場合は、「パスワード」フィールドが必須になります。</li> <li>• [認証レルム] フィールドは必須ではありません。「ユーザ名」が指定されている場合は、「認証レルム」フィールドが必須になります。</li> <li>• [招待に含める (Include in Invite)] チェックボックスが削除された場合</li> </ul>
プロキシサーバ - 詳細設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「RTP ポート範囲」フィールドは必須ではありません。デフォルト値は自動入力されます。</li> <li>• [パイロット番号] フィールドが表示されるのは、[発呼側ヘッダーの選択] が「P-AID パイロット DID」として選択されている場合のみです。</li> </ul>
レジストラサーバ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [クレデンシャルの追加] チェックボックスが新しく追加されました。[クレデンシャルの追加]をクリックして行を追加すると、「ユーザ名」、「パスワード」および「Include DID」フィールドが表示されます。</li> <li>• デフォルトでは、「レルムでの登録」はオフになっています。</li> </ul>
登録サーバ - 詳細設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [クレデンシャルの追加] チェックボックスが新しく追加されました。[クレデンシャルの追加]をクリックして行を追加すると、「ユーザ名」、「パスワード」および「Include DID」フィールドが表示されます。</li> <li>• デフォルトでは [Register with realm] チェックボックスはオフになっています。</li> </ul>

## サイトの管理

シスコ パートナーおよびお客様の管理者は、次の機能を設定できます。

- [サイトの管理(Manage Site) > 内線番号(Extensions) > 内線番号の追加(Add Extension)] の下に作成した内線番号サイト展開では、デフォルトで共有回線が無効になっています。
- 共有が有効になっていない内線番号が複数の電話機にマッピングされている場合 [電話(Phones) > 電話の変更(Modify Phone) > ボタン(Buttons)]、ポータルは自動的に共有の内線番号を有効にします ([内線番号(Extensions) > 内線番号の修正(Modify Extension) >]追加設定(Additional Settings)]がオンになっています。
- 次の非機能フィールドが削除されます。

ページ	非機能フィールドが削除されました
[内線番号(Extensions) > 内線番号の追加(Add Extension) および 内線番号(Extensions) > 内線番号の修正(Modify Extension) ] の下の追加設定(Additional Settings)ページ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [After Hour] チェックボックス</li> <li>• [音声 ハント グループ] チェック ボックス</li> <li>• [Refer] チェックボックス</li> <li>• [設定] フィールド</li> <li>• [ハント停止] チェックボックスと関連付けられている [チャンネル] フィールド</li> <li>• [セッション サーバ] チェックボックスとそれに関連付けられている [セッション サーバ] フィールド</li> </ul>
[電話(Phones) > 電話の追加(Add Phone) および [電話(Phones) > 電話の修正(Modify Phone)] の下の [基本情報(Basic Info)] ページ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [After Hour 免除] チェックボックス</li> <li>• [カメラ (Camera)] チェックボックス</li> </ul>

ページ	非機能フィールドが削除されました
<p>[サイトの管理(Manage Site) &gt; 電話(Phones) &gt; 電話の追加(Add Phone)]および[電話(Phones) &gt; 電話の修正(Modify Phone)]の下の追加設定(Additional Settings)ページ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [アプリケーション]フィールド</li> <li>• [グループ電話] ドロップダウンリスト</li> <li>• [緊急応答の場所]フィールド</li> <li>• "Lpcor" ドロップダウンリスト</li> <li>• 「パーク」フィールド</li> <li>• [プリファレンス (Preference)] ドロップダウンリスト</li> <li>• 登録タイマー: 「最大値 (120~86400)」 および 「最小値 (60~3600)」 フィールド</li> <li>• [着信の詳細 (in Details)]: [有効 (Enable)] チェックボックス</li> <li>• 会議の詳細 - [タイプ (Type)] ドロップダウンリスト</li> <li>• [エクステンション モビリティ] チェックボックス</li> </ul>

- [サイトの管理(Manage Site) > 内線番号(Extensions) > 内線番号の修正( Modify Extension) > 追加設定(Additional Settings) ]の下の [自動応答(Auto Answer)] チェックボックスのツールチップは、次のように更新されます。

"有効にすると、この内線番号は自動的に着信コールに応答します"

- ローカル管理画面では、次の更新が行われます。
  - ステータスは、ポータルステータス、電話登録ステータス、NIM カード およびトランクサービスステータスを提供するように拡張されています。
  - [ヘルプ (help)] メニューは、次のオプションを表示するように強化されています。
    - L—ローカル サービスの概要
    - G - テレフォニーサービスの詳細
    - C—T1/E1 コントローラのステータス
    - I—ISDN サービスのステータス
    - P—ISDN インターフェイスのリセット
    - U: メインインターフェイス (0/0/0) の MTU を設定します。

## 解決済みのバグ

次のバグが解決されました。

問題	説明	回避策
469	BE4000 ポータルダッシュボードでは、[オンライン (Online)] および [オフライン (Offline)] 状態で表示される電話機の数 that 不正確である可能性があります。	—
887	[サイトの管理(Manage Site) > 電話(Phone) > 電話の追加(Add Phone)] で初期展開後に追加された電話機では、すべての機能 (ダイヤリング 70999) が機能しません。	—
901	BE4000 ポータルでは、内線番号が共有に対応していない場合でも、複数の電話にマッピングできます。この結果、電話機が同時に呼び出し音が鳴りません。着信コールは1つの電話を最初のコールに対して呼び出し、次のコールに対して2番目の電話機を呼び出します。	複数の電話機間で内線番号を共有する必要がある場合は、[内線番号の修正 (Modify Extensions) > 詳細設定(Advanced Settings)] ページの [共有電話 (Shared Line)] チェックボックスをオンにします。
928	セットアップアシスタントの [ステーション] ページで最初の展開時に内線に対して snr が有効になっている場合でも、[サイトの管理(Manage Site) > 内線番号 > 内線番号の修正 > SNR] の下の [発信者番号ローカル] チェックボックスは無効になっています。	SNR を無効にして、変更を保存します。もう一度 SNR を有効にします。
969	[サイトの管理(Manage Site) > 内線番号 > 内線番号の追加] の下の [不在転送] ページのフィールドに、先頭に 0 を付けた数字を追加することはできません。	—
990	ブラウザとして Internet Explorer を使用している間、[サイトの管理(Manage Site) > 電話 > ボタン] の下にある ボタン ページにエラーが表示されます。	サポートされているブラウザを使用してください。
1055	[サイトの管理(Manage Site) > 電話 > 詳細設定] の下にある [アプリケーション] フィールドと [ATA IVR Password] フィールドには、ブラウザに保存されているクレデンシャルが自動入力されます。これにより、電話機からの発信コールが失敗する可能性があります。	自動入力された値を削除し、フィールドを空白のままにします。

## 2017年12月に導入された機能

2017年12月13日

セットアップアシスタント

次の機能は、シスコパートナーのみが設定できます。

- ダイヤルプランのサポートは、次の国で使用できるようになりました。
  - チェコ共和国
  - Egypt
  - ギリシャ
  - ハンガリー
  - レバノン
  - ノルウェー
  - オマーン
  - パラグアイ
  - スロバキア
- [自動同期 (Automatic Synchronization)] ドロップダウンリストは、NIM-1MFT-T1/E1、NIM-2MFT-T1/E1 および NIM-3MFT-T1/E1 カードの [ラインカード (Line card)] ページから削除されます。
- エンドユーザアカウントの詳細を管理できるようになりました。[ **サイトの管理 (Manage Site)** > **ユーザ管理** ] をクリックして、次の操作を実行します。
  - 電子メールアドレス、プライマリ内線番号、ボイスメール機能などのエンドユーザの詳細を表示します。
  - エンドユーザの電子メールアドレスの変更
  - エンドユーザへの電話登録電子メールの再送信
  - すべてのユーザへの電話登録電子メールの再送信
  - エンドユーザのセルフケアポータルパスワードのリセット
  - すべてのエンドユーザのセルフケアポータルパスワードのリセット
  - エンドユーザの削除
- サイトの作成時に、お客様のシスコスマートソフトウェアライセンスングトークンを追加できます。[ **ライセンス (Licensing)** ] ページの [スマートライセンス トークン] フィールドにトークンを入力します。

- **[LAN 接続]** ページの **[SMTP サーバ-電子メールの機能を有効にする]** セクションに、**[送信者の電子メールアドレス]** フィールドが追加されます。入力された電子メールアドレスは、ボイスメールの添付ファイルを含む電子メールの送信時には「From」アドレスとして使用されます。
- ダイヤルプランの詳細を含む **[ダイヤル プラン]** ページに表示されるテーブルは読み取り専用になります。
- FXS 内線番号を DID にマッピングできます。FXS 拡張機能は、**着信コール マッピング** および **アウトバウンド 発信者 ID** ページで使用できます。
- インターコムが電話機の回線ボタンに割り当てられていません。以前は、内線番号が作成されるたびに、インターコム拡張子もデフォルトで作成され、電話回線ボタンに表示されていました。
- ツールチップは、セットアップアシスタントの **[station]** ページの **[snr]** フィールドに番号を入力するために用意されています。

#### サイトの管理

シスコ パートナーおよびお客様の管理者は、次の機能を設定できます。

- 顧客の管理者は、サイトのスケジュールされたバックアップが失敗したときに電子メールを受信します。スケジュールされたバックアップがバックエンドで発生すると、障害を通知する電子メールが顧客の管理者に送信されます。
- **[自動同期 (Automatic Synchronization)]** ドロップダウンリストは、NIM-1MFT-T1/E1、NIM-2MFT-T1/E1 および NIM-3MFT-T1/E1 カードでは、**[サイトの管理 (Manage Site) > ラインカード(NIM) の下にある [NIM カードの追加(Add NIM Card)]** および **[設定の編集(Edit Configuration)]** ページから削除されます。
- **[サイトの管理 (Manage Site) > 内線番号 > 内線番号の修正]** の下にある **[SNR]** ページの **[SNR 番号]** フィールドに番号を入力するためのツールチップが用意されています。
- エンドユーザアカウントの詳細を管理できます。 **[サイトの管理 (Manage Site) > ユーザ管理]** をクリックして、次の操作を実行します。
  - 電子メールアドレス、プライマリ内線番号、ボイスメール機能などのエンドユーザの詳細を表示します。
  - エンドユーザの電子メールアドレスの変更
  - エンドユーザへの電話登録電子メールの再送信
  - すべてのユーザへの電話登録電子メールの再送信
  - エンドユーザのセルフケアポータルパスワードのリセット
  - すべてのエンドユーザのセルフケアポータルパスワードのリセット
  - エンドユーザの削除

- FXS内線番号をDIDにマッピングできます。FXS内線機能は、[サイトの管理(Manage Site) > ダイアルイン方式番号]の下にある着信コール マッピングおよび発信発信者 IDページで使用できます。
- シスコスマートソフトウェア ライセンシング トークンポストサイト展開を追加できます。[サイトの管理(Manage Site) > 設定 > ライセンス]の下にある[スマート ライセンス トークン]フィールドにトークンを入力します。
- [サイトの管理(Manage Site) > 設定]の下の[システム設定]ページに、[Sender'S Email Address]フィールドが追加されます。入力された電子メールアドレスは、ボイスメールの添付ファイルを含む電子メールの送信時には「From」アドレスとして使用されます。

エンド ユーザ

エンド ユーザは、次の機能にアクセスできます。

- [My Extensions] ページの [Single number リーチ] フィールドに番号を入力するためのツールチップが用意されています。

### 解決済みのバグ

次のバグが解決されました。

問題	説明	回避策
545	市外局番を使用せずに市内番号をダイヤルすると、SIP トランクを介してルーティングされたコールが完了しないことがあります。	市内番号をダイヤルするときに市外局番を含めます。
607	既存のテンプレートから新しいサイトを設定するときに、テンプレートに1つのハントグループしか含まれていない場合は、自動応答メニュー オプションにハントグループがリストされないことがあります。	[サイトの管理(Manage Site) > 自動応答]の下で、自動応答メニュー オプションのポストサイト展開を変更します。
880	Cisco IP 電話 8831 に表示されるソフトキーのリストが不完全である可能性があります。	—

## 2017年11月に導入された機能

2017年11月29日

サイトの管理

シスコ パートナーおよびお客様の管理者は、次の機能を設定できます。

- ラインカードのステータスと接続を確認できます。[サイトの管理(Manage Site) > ラインカード(NIM)]をクリックして、設定されているNIMカードのステータスと接続性の詳細を確認します。

## 2017年11月21日

### セットアップアシスタント

次の機能は、シスコパートナーのみが設定できます。

- ダイヤルプランのサポートは、次の国で使用できるようになりました。
  - デンマーク
  - ドミニカ共和国
  - エルサルバドル
  - 香港
  - Jamaica
  - Poland
  - Portugal
  - スロベニア
  - スイス
  - 米領ヴァージン諸島
- カスタム SIP プロバイダーテンプレートを選択した場合、[アウトバウンドプロキシ (Outbound Proxy)] フィールドはオプションです。[サービス設定 (Service Settings)] ページの [プロバイダーテンプレート (Provider Template)] ドロップダウンリストから、[カスタム (Custom)] を選択します。
- ポストサイト展開を編集できないセットアップアシスタントのフィールドは黄色で強調表示されています。シスコパートナーは、顧客サイトの作成時に正確な情報が提供されるようにすることができます。
- 営業時間に依存せずに夜間のサービス時間をスケジュールすることができます。[夜間サービス] ページでは、夜間サービスに固有のスケジュールを追加できます。

### サイトの管理

シスコパートナーおよびお客様の管理者は、次の機能を設定できます。

- 営業時間に依存せずに夜間のサービス時間をスケジュールすることができます。[サイトの管理 (Manage Site) > 夜間サービス] ページでは、夜間サービスに固有のスケジュールを追加できます。
- 「Gpickup」ソフトキーを使用して、いずれかのピックアップグループで呼び出し音をピックアップする内線番号を有効にすることができます。[サイトの管理 (Manage Site) > 内線番号 > 内線番号の修正] の下にある追加の設定ページで、[Pickup Call] チェックボックスをオンにします。サイト内の任意のグループに属する内線番号で呼び出し音に応答するには、Gpickupソフトキーの後に\*を押します。

- グループメールボックスで作成された内線番号では、「メッセージ待機インジケータ」を使用できます。

#### エンドユーザ

エンドユーザは、次の機能にアクセスできます。

- 電話機に表示されるソフトキーの順序には、次のような変更があります。
  - Newcallソフトキーが削除されました
  - オンフック状態に表示されるソフトキーの順序は次のとおりです:**リダイヤル Cfdall Pickup Gpickup HLog Mobility DND**
  - オフフック状態で表示されるソフトキーの順序は次のとおりです:**リダイヤル Cfdall Pickup Gpickup HLog Endcall**

#### 解決済みのバグ

次のバグが解決されました。

問題	説明	回避策
647	BE4000 ポータルでは、自動応答ページと保留音ページのオーディオファイル形式がチェックされず、エラーが表示されずに失敗します。	サポートされているファイル形式をアップロードします。
722	サイト テンプレートから設定をロードする際に、設定された長さとは異なる内線番号を持つハントグループが存在する場合があります。	内線番号の長さを変更せずに、初期展開を続行します。[ <b>サイト管理 &gt; ハントグループ</b> ]の下で、ハントグループの詳細のポストサイト展開を更新します。
764	NIMカードは、BE4000 アプライアンスにインストールされている場合でも、 <a href="http://be4000.cisco.com/deploy">http://be4000.cisco.com/deploy</a> にサイトを展開している間は表示されません。	展開を続行します。NIMカードの実際の設定は影響を受けません。
779	セットアップアシスタントのFXOカードでのループ開始からグラウンドスタートへのシグナリングタイプで行われた変更は、[ <b>サイトの管理 (Manage Site) &gt; ラインカード (NIM)</b> ] ページには反映されません。	—
787	セットアップアシスタントの初期展開時に設定された自動応答のウェルカムプロンプトのファイル名は、導入後は保存されません。	—

問題	説明	回避策
788	サイトが自動応答の非互換音声プロンプトを使用し、展開されている場合、 <b>[サイトの管理(Manage Site) &gt; 自動応答]</b> の下で、導入後のデフォルト設定に戻すことはできません。	互換性のあるファイル形式で音声プロンプトをアップロードします。
802	<b>[ISDN Type]</b> フィールドのドロップダウンリストは不完全であり、次のリストは表示されません。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 不明 (Unknown)</li> <li>• Subscriber</li> <li>• Network</li> <li>• 省略 (Abbreviated)</li> <li>• 予約済 (Reserved)</li> </ul>	—
881	着信コールマッピングの一部であったハントグループを削除し、サイトを展開すると、 <b>[サイト管理 &gt; ダイヤルイン方式番号]</b> の下の <b>[着信コールマッピング]</b> ページに「--No records to display--」と表示されます。	削除されたものと同じ名前のハントグループを追加します。

## 2017年10月に導入された機能

### 2017年10月31日

#### セットアップアシスタント

次の機能は、シスコパートナーのみが設定できます。

- プロバイダーディジットは、すべてのトランクタイプに使用できるようになりました。[プロバイダーディジット (Provider Digits)] フィールドは、セットアップアシスタントの [ラインカード (ISDN トランク)] ページから、**[サイトの管理(Manage Site) > ダイヤルイン方式番号 > 番号の管理]** ページに移動します。
- 事前設定された SIP プロバイダーテンプレートが Telstra に使用できるようになりました。[サービス設定 (Service Settings)] ページの [プロバイダーテンプレート (Provider Template)] ドロップダウンリストから **Telstra** を選択します。
- SIP サービスの設定ページには、次のような変更があります。

表 1: SIP サービスの構成ページの変更

ページ	変更	その他の情報
インターフェイスの設定	<p>ネーム サーバフィールドが追加されます。</p> <p>(注) このフィールドは、[ <b>Use Secondary Interface For Trunk?</b> ] が [yes-with static address] または [yes-with dynamic address] として選択されている場合にのみ表示されます。</p>	<p>DHCP 経由で提供されている場合でも、ネームサーバアドレスを入力します。SIP サービスで専用のプライベート DNS が使用されている場合は、サーバの IP アドレスを入力します。最大で 6 つのアドレスをスペースで区切って追加できます。</p>

ページ	変更	その他の情報
Proxy Server	ドメイン名またはレルムは、認証レルムとして名前が変更されます。	プロキシダイジェスト認証のレルムを入力します (通常はサービスプロバイダー名)。
	[招待に含める (Include in Invite)] チェックボックスが追加されました。	サービスプロバイダーが最初の invite で認証の詳細を送信する必要がある場合は、[招待に含める] チェックボックスをオンにします。オフにすると、407チャレンジへの応答で認証が提供されます。
	[コーデック設定 (Codec Preference)] ドロップダウンリストは、[詳細設定 (Advanced Settings)] から削除されます。	—
	発呼側ドメインが追加されます。	発信側のヘッダーを使用して BE4000 IP アドレスを送信するには、空白のままにします。BE4000 IP アドレスの代わりに送信するドメイン名または完全修飾ドメインを指定します。
	P アサート ID (有料) は、発呼側ヘッダー選択ドロップダウンリストで次のように置き換えられます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• P-AID パイロット DID</li> <li>• P エイド割り当てられた DIDs</li> </ul>	—
	パイロット番号のドロップダウンリストが追加されます。	サービスプロバイダーが P アサートされた Id ヘッダーに特定の番号を使用する必要がある場合は、ドロップダウンリストからパイロット番号を選択します。
	[RFC3555 準拠の G. G.729 付属書 B] チェックボックスが追加されました。	コールサーバが RFC3555 に準拠していない場合は、RFC3555 準拠の G.729 付属書 b のチェックボックスをオフにします。G.729 の付属書 b の SDP フォーマットを設定します (g729 のオーバーライドを追加します)。不明な点がないかどうかを確認します。

ページ	変更	その他の情報
	<p>双方向メディアオーバーライドのチェックボックスが追加されました。</p>	<p>[双方向のメディアオーバーライド] チェックボックスをオンにして、メディアストリームの変更を送信/受信から sendonly または inactive にオーバーライドします。オンにすると、2方向メディアが常に要求されます。</p>
	<p>CLI 制限プレフィックスフィールドが追加されます。</p>	<p>サービスプロバイダーがコールごとに発信回線IDをコール単位で使用できるようにする場合は、ダイヤリングプレフィックスを入力します。</p>
レジストラ	<p>[ <b>Configure レジストラ VIA DHCP</b> ] チェックボックスが追加されました。</p> <p>(注) このフィールドは、[ <b>Use Secondary Interface For Trunk</b> ] が選択されている場合にのみ表示されます。ドロップダウンは、[yes-with static address] または [yes-with dynamic address] として選択されます。</p>	<p>登録アドレスが DHCP を介して提供されている場合は、[ <b>Configure レジストラ VIA dhcp</b> ] チェックボックスをオンにします。</p> <p>(注) [ <b>レジストラ VIA DHCP</b> ] チェックボックスをオンにすると、[ <b>レジストラ Address</b> ] フィールドと [ <b>Port</b> ] フィールドは無効になります。</p>
	<p><b>Include DID</b> ドロップダウンリストが追加されました。</p>	<p>ドロップダウンリストから、該当する DID 番号を選択します。サービスプロバイダーが登録認証のために DID を含める必要がある場合は、適切な DID 番号を選択します。</p>
	<p>複数の登録クレデンシャルを追加する機能。</p>	<p><b>ユーザ名、パスワード および DID を含む最大12行を追加</b> できます。</p>
	<p>[ <b>レルムによる登録 (Register with realm)</b> ] チェックボックスが追加されました。</p>	<p>デフォルトでは [ <b>Register with realm</b> ] チェックボックスはオンになっています。レジストラは、プロキシに対して提供されるレルム情報を使用して設定されます。設定を削除する場合はオフにします。</p>

ページ	変更	その他の情報
セキュリティ	セットアップアシスタントの次のページに進むには、信頼できる IP アドレスの入力は必須ではありません。	セットアップアシスタントの [SIP トランク] の下の [Security] ページに、少なくとも1つの「信頼できる IP アドレス」を追加することをお勧めします。BE4000は、着信 voip コールのリモート IP アドレスが信頼できるシステム IP アドレスリストのアドレスと一致する場合にのみ、着信 VoIP (SIP) コールを受け入れます。信頼できる IP アドレスを認識していない場合は、回避策として0.0.0.0を追加します。これは、トランク上の未設定の IP アドレスからの着信コールを許可することです。
	信頼できる Ip アドレスフィールドは、信頼できる ip アドレスまたはサブネットに名前が変更されます。	サービスプロバイダーが使用する信頼できる IP アドレスとサブネットを追加します。サブネットを入力する場合は、x.x.x.x/nn 形式を使用します。

- セットアップアシスタントの下の [発信者 ID] ページの [プライマリ DID (Primary DID)] フィールドは、[デフォルトアウトバウンド DID] に名前が変わりました。
- Setup Assistant の [ダイレクトダイヤル番号 (Direct Dial Numbers)] ページで、e.164 形式の DID 番号 (先頭に + を含む) を追加することがサポートされています。

#### サイトの管理

シスコパートナーおよびお客様の管理者は、次の機能を設定できます。

- サイトの展開後に、新しいラインカードを追加したり、インストールされたラインカードの設定を編集したりできます。ラインカードを追加または編集するには、[サイトの管理 (Manage Site)] の下にある **ラインカード (NIM)** をクリックします。
- サイトの展開後に保留音を設定できます。保留音を追加または変更するには、[サイトの管理 (Manage Site)] の下の **保留音** をクリックします。

BE4000は、保留音のデフォルトのオーディオファイルを再生します。また、選択したオーディオファイルを設定することもできます。カスタムオーディオファイルには、次のものがが必要です。

- ファイル名にスペースが含まれていません
- ファイル形式: au または .wav;G、itu-t、itu-t、または米国法8Khz、8bit;Mono
- ファイルサイズは 1 MB を超えてはなりません。

- [サイトの管理 (Manage Site) > ダイヤルイン方式番号] の下の [発信者 ID] ページの [プライマリ DID (Primary DID)] フィールドは、[デフォルトアウトバウンド DID] に名前が変わりました。

## 2017年10月25日

### サイトの管理

シスコ パートナーおよびお客様の管理者は、次の機能を設定できます。

- バックアップされたサイトの設定を復元できるようになりました。以前の5つの連続したバックアップは、復元に使用できます。バックアップされた設定を復元するには、[ **サイトの管理 (Manage Site) > 設定 > システムの復元** ] に移動し、設定を復元する日付を選択します。次のいずれかのオプションを選択し、[ **復元** ] をクリックします。
  - すべてのデータ
  - 電話、内線番号、ダイヤルプラン
  - ボイスメール & 自動応答プロンプト

## 2017年10月10日

### セットアップアシスタント

次の機能は、シスコ パートナーのみが設定できます。

- ダイヤルプランのサポートは、次の国で使用できるようになりました。
  - コスタリカ
  - エクアドル
  - グアテマラ
  - パナマ
  - ペルー
  - フィリピン
  - プエルトリコ
  - Turkey
  - アラブ首長国連邦
  - ウルグアイ
- 自動応答サブメニューオプションの .wav ファイルをアップロードできます。ドロップダウンオプションから [サブメニュー] を選択し、[ **自動応答** ] ページで .wav ファイルをアップロードします。

## サイトの管理

シスコパートナーおよびお客様の管理者は、次の機能を設定できます。

- 自動応答サブメニューオプションの .wav ファイルをアップロードできます。ドロップダウンオプションから [サブメニュー] を選択し、[サイトの管理 (Manage Site) > 自動応答] の下にある [自動応答 (Auto アテンダント)] ページで .wav ファイルをアップロードします。
- [サイトの管理 (Manage Site)] のオプションの **直通ダイヤル番号**は、**ダイヤルイン方式番号 (DID)**に変更されます。

## 2017年9月に導入された機能

### 2019年9月19日

#### セットアップアシスタント

次の機能は、シスコパートナーのみが設定できます。

- 次のページが新しく追加されます。
  - **着信コール マッピング**: ダイヤルイン方式 (DID) 番号の着信コールを内線番号、ハントグループ、または自動応答にマッピングできます。
  - **[アンとバウンド 発信者 ID]**: サービスプロバイダーごとにデフォルトのアウトバウンド DID 番号を選択できます。DID が割り当てられていないサービスプロバイダーに属している内線からの発信コールは、発信者 ID サービスのデフォルト DID を使用します。デフォルト DID 番号以外の DID 番号に内線番号をマッピングすることもできます。
- BE4000ヘルプセンター (<https://support.be4000.cisco.com>) には、ポータルダッシュボードからアクセスできます。BE4000ヘルプセンターにアクセスするには、[?] の下にある [**help center**] をクリックします。ダッシュボードの右上隅にある [ユーザ (User)] ドロップダウンリストの [ドキュメンテーション (Documentation)] が削除されました。
- 外線番号をダイヤルするための数字として\*および7を割り当てることはできません。\*および7は、[ **System Settings** ] ページの [Dial An 外線 Line] ドロップダウンリストから削除されます。
- [アクティベーションコード] フィールドは、[ **夜間サービス** ] ページの [手動アクティベーションコード] に名前が変更されます。「手動アクティベーションコード」のデフォルト値は \* 1234 です。
- 「LAN ネットワーク接続」は、[ **接続 (Connectivity)** ] ページの [lan 接続 (lan connection)] に名前が変更されました。
- 最大深さがレベル3の最大5つのサブメニューを自動応答用に設定できます。
- [ **リージョン設定 (Region Settings)** ] ページの [日付形式 (Date Format)] フィールドのデフォルト値は、D/m/y から M/d/y に変更されます。

- 無応答のハントグループコールを、ハントグループメンバーを含むグループメールボックスに送信できます。[Do a group mailbox as the final number?] チェックボックスをオンにして、[ハントグループ] ページで電子メールアドレスと内線番号を入力します。グループメールボックスは、入力した電子メールアドレス、内線番号およびハントグループに属するメンバーで自動的に作成されます。
- サイト設定をバックアップするオプションがあります。[メンテナンススケジュール (Maintenance Schedule)] ページの [バックアップ (Backup)] チェックボックスをオンにします。ただし、ポータルでは、バックアップされたサイトの設定を表示または復元することはできません。
- テンプレートの作成時に、セットアップアシスタントに入力されたすべての詳細が保存されるようになりました。

## サイトの管理

シスコパートナーおよびお客様の管理者は、次の機能を設定できます。

- 組織のポストサイト展開のダイヤルイン方式 (DID) 番号を管理できるようになりました。[サイトの管理 (Manage Site)] の **ダイヤルイン方式番号 (DID)** には、次のページが含まれています。
  - **[番号の管理 (Manage numbers)]**: DID 番号の追加、変更 および削除を行うことができます。
  - **着信コール マッピング**: DID 番号の着信コールを内線、ハントグループ、または自動応答にマッピングできます。
  - **[アンとバウンド 発信者 ID]**: サービス プロバイダーごとにデフォルトのアウトバウンド DID 番号を選択できます。DID が割り当てられていないサービス プロバイダーに属している内線からの発信コールは、発信者 ID サービスのデフォルト DID を使用します。デフォルト DID 番号以外の DID 番号に内線番号をマッピングすることもできます。
- 共有電話は、すべての内線に対してデフォルトで無効になっています。内線番号(回線)を他の電話機に共有するには、目的の内線番号について、[サイトの管理 (Manage Site) > 内線番号 > 内線番号の修正] の下にある **追加の設定** ページの [共有電話] チェックボックスをオンにします。
- **[内線番号の追加 (Add extension)]** および **[内線番号の修正 (Modify extension)]** ページの [詳細設定 (Advanced Settings)] の下にある [ディジット収集 (Digit Collect)] ボックス
- [アクティベーションコード] フィールドは、[夜間サービス] ページの [手動アクティベーションコード] に名前が変更されます。「手動アクティベーションコード」のデフォルト値は \* 1234 です。
- 最大深さがレベル 3 の最大 5 つのサブメニューを自動応答用に設定できます。
- **[サイトの管理 (Manage Site) > パーソナル メールボックス]** で作成されたパーソナルメールボックスには、デフォルトとして次の値があります。

- [言語 (language)]: セットアップアシスタントの [システム設定 (System settings)] ページで選択した言語
- チュートリアルを再生する: はい
- 有効—はい
- 録音タイプ: ユーザの録音
- グリーティングタイプ: 標準

## 2017年8月に導入された機能

2017年8月29日

セットアップアシスタント

次の機能は、シスコパートナーのみが設定できます。

- これで、メニューを繰り返し、自動応答のメインメニューに戻るオプションが表示されるようになりました。[メニューを繰り返す (Repeat Menu)] と [メインメニューに戻る (Return to Main Menu)] ドロップダウンオプションは、**自動応答** ページに新しく追加されます。
- +自動応答機能とハントグループは、複数のダイヤルイン方式 (DID) 番号を使用してマッピングできます。
- [ **Station** ] ページに追加された電子メールアドレスの最上位ドメインには、最大 6 文字を含めることができます。

サイトの管理

シスコパートナーおよびお客様の管理者は、次の機能を設定できます。

- [ **サイトの管理 (Manage Site) > 電話(Phones)** ] の下の [ **電話の追加(Add Phone)** ] ページと [ **電話の修正(Modify Phone)** ] ページの [on] および [off] スライダーが削除されました。
- これで、自動応答機能でメニューを繰り返し、メインメニューに戻るオプションが表示されるようになりました。[Repeat Menu] と [Return to Main Menu] ドロップダウンオプションは、**自動応答** ページに新しく追加されます。
- 展開後のサイトのメンテナンススケジュールを変更できます。スケジュールを変更するには、目的のサイトのアクション列から [ **サイトの管理 (Manage Site) > 設定 > メンテナンススケジュール** ] をクリックします。
- [ **サイトの管理 (Manage Site) > 電話 (Phones) > 電話の修正(Modify Phone)** ] の下のボタンページのドロップダウン オプション「プレゼンス」が「BLF スピードダイヤル」に名前変更されました。
- 電話機がセットアップアシスタントに追加され、[ **サイトの管理 (Manage Site) > 電話(Phones) > 電話の追加(Add Phone)** ] の下にある場合、[Session Transport protocol] ドロップダウンリストにデフォルト値として [TCP] が選択されます。

• [サイトの管理 (Manage Site) > 設定 > システム設定] で、次の設定のポストサイト展開を編集できます。

- ダイヤルプラン設定の「桁間タイムアウト」
- リージョン設定の「タイムゾーン」
- SMTP サーバの設定

## 2017年8月16日

パートナー ポータルおよびお客様管理ポータル

シスコパートナーおよびお客様は、次の機能にアクセスできます。

- セットアップアシスタントで SNR 番号を入力し、[サイトの管理 (Manage Site)] の下で、外線番号をダイヤルする番号から開始し、その後に国コード、国内の宛先コード(市外局番)および加入者番号をダイヤルする必要があります。たとえば、9が外部回線にダイヤルする数字、1が国コード、555が市外局番、9999999が加入者番号である場合は、91555999999と入力する必要があります。

## 2017年8月9日

パートナー ポータル

- セットアップアシスタントには、次の新しいページがあります。
  - **営業時間** - 営業が終了したときに週次スケジュールを設定します。
  - **夜間サービス**: クローズした営業時間中に、指定された場所にコールを転送する内線番号を許可します。
  - **メンテナンス スケジュール**: システムがソフトウェアアップデートをインストールするのに安全である場合に、毎日の時刻を指定します。
- サイトが [サイトの管理 (Manage Site)] の下で正常に展開された後、自動応答、営業時間および夜間サービスを編集できます。
- Cisco IP 電話 8845 および Cisco IP 電話 8865 を BE4000 にプロビジョニングできます。
- Cisco IP 電話 8800 シリーズは、**Cisco IP 電話 8800 キー拡張モジュール(kem)** をサポートしています。Cisco IP 電話 8800 シリーズの各モデルでサポートされている KEMs の数は、次のとおりです。
  - Cisco IP 電話 8851: 最大2
  - Cisco IP 電話 8861: 最大3
  - Cisco IP 電話 8865: 最大3
- FXO ポートをサードパーティのペー징ングシステムに接続できるようになりました。[サイトの管理 (Manage Site) > ラインカード] の下の [ラインカードの修正(Modify Line Card)]

] ページで、[Type] ドロップダウン リストから**サードパーティのページング(3rd party paging)**を選択します。サードパーティ ページング システムへのアクセス権を取得するためにダイヤルする内線番号を入力します。

- PromptAdministrators グループのデフォルトのプライマリ内線番号は**70397**で、[サイトの管理 (Manage Site)] の下の [ **グループ メールボックス** ] ページに表示されます。PromptAdministrators は、ユーザが電話でプロンプトを管理する機能を持つグループです。
- セットアップアシスタントに FXS カードを追加する際は、すべての回線の制限クラス (COR) を選択する必要があります。次に、使用可能なオプションを示します。
  - 内部
  - ローカル
  - ローカルプラス
  - 国内
  - 国内プラス
  - International
- [サイトの管理 (Manage Site) > 電話] の下の [ **電話の追加 (Add phone)** ] および [ **電話の変更 (Modify phone)** ] ページで、ポータル<sup>1</sup>の電話ボタンの内線、短縮ダイヤル、またはプレゼンスを設定できます。

#### 管理者用ポータル

[サイトの管理 (Manage Site) > 電話] の下の [ **電話の追加 (Add phone)** ] および [ **電話の変更 (Modify phone)** ] ページで、ポータル<sup>1</sup>の電話ボタンの内線、短縮ダイヤル、またはプレゼンスを設定できます。

#### 2017年8月2日

##### パートナー ポータル

- セットアップアシスタントの [ **自動応答 (Auto アテンダント)** ] ページのファイル名にスペースを含むプロンプトをアップロードすることはできません。
- ボイスメールに自動的にコールを送信するために設定されたリードディジットで始まる内線番号を追加することはできません。

例: セットアップアシスタントの [ **システム設定 (System Settings)** ] ページで、[ボイスメールに自動送信 (Send To ボイスメール)] ドロップダウンリストから2つを選択したとします。2002、2005などの2から始まる内線番号は、セットアップアシスタントの [ **station** ] ページと [サイトの管理 (Manage Site) > 内線番号] の下の [ **add Extension** ] ページで追加することはできません。

## 2017年7月に導入された機能

2017年7月26日

パートナー ポータル

- ダッシュボードは次のように更新されます。
  - [作成者 (Created By)] 列が新しく追加され、デフォルトで表示されます。このソート可能な列には、サイトを追加したパートナーユーザの電子メールアドレスが表示されます。
  - BE4000アプライアンスのシリアル番号が、[設定が進行中 (Configuration in Process)] 状態になっているサイトに表示されます。

- オンライン状態にあるBE4000サイトを所有しているカスタマー管理者のワンタイムパスワード (OTP) アカウントをリセットできるようになりました。

OTP アカウントをリセットするには、次の手順を実行します。

1. 目的のサイトの [アクション] 列から [サイトの管理(Manage Site)] をクリックします。
2. 連絡先情報の下の [編集 (edit)] (ペンアイコン) をクリックします。
3. [RESET OTP] をクリックします。

OTP アカウントをリセットすると、Cisco Business Edition セルフケア ポータルにログインするときに、顧客の管理者に新しいotpアプリケーションアカウントの作成が義務付けられます。

- セットアップアシスタントの [Customer Name] フィールドと [Location] フィールドには、最大15文字を追加できます。
- セットアップアシスタントの [ラインカード(Line Cards)] ページには、FXS または FXO ラインカードを追加する際に、「In + Out」と「u-法律」がデフォルト値として表示されます。
- セットアップアシスタントの [ラインカード (line card)] ページで fxo ラインカードを追加するときに、fxo 回線ごとに一意の番号を入力する必要があります。
- エンドユーザに関連付けられた e.164 番号を追加または編集できます。[サイトの管理 (Manage Site)] > 個人メールボックスに「E.164」フィールドにユーザを追加し、ユーザページを変更します。
- 展開サイト (<http://be4000.cisco.com/deploy>) は、サイト展開の失敗の理由を表示するように強化されています。
- エンドユーザの数字のみを含む電子メールアドレスを追加できます。例: *1234@company.com*。

- セットアップアシスタントの [ステーション (station)] ページが拡張され、DID または内線番号が誤って入力された理由が表示されるようになりました。このフィールドをマウスオーバーすると理由が表示されます。

#### カスタマー管理者ポータルとエンド ユーザ ポータル

Cisco Business Edition セルフケア ポータルに登録すると、[「Cisco BE4000 Account Activation」] ページの [password] フィールドにパスワード要件を含むツールチップが表示されるようになりました。

#### 2017年7月19日

##### パートナー ポータル

- 現在、ダイヤルプランのサポートは、デンマークおよびオランダで利用可能になっています。
- ラインカードは、初期サイト展開時のみ追加できます。サイトが正常に展開された後、[サイトの管理 (Manage site >)] ラインカードページで FXO ラインカードのみを表示および変更できます。FXS、BRI および PRI ラインカードは、初期サイトの展開時に追加された場合でもリストされません。

#### 2017年7月12日

##### パートナー ポータル

- [電話の追加 (Add phone)] および [電話の変更 (Modify phone)] ページで制限クラス (COR) を設定できるようになりました。
- セットアップアシスタントの [ダイヤルプラン (Dial plan)] ページの [ローカルダイヤルオプション (Local options)] のオプションは、選択した国に基づいて動的に入力されます。[Local Area Code] フィールドは、[Local ダイヤル Options] の選択に基づいて表示されます。
- セットアップアシスタントの [ラインカード (Line Cards)] ページで FXS/FXO カードを設定する場合、FXS のみ、または FXO のみを設定できます。FXS と FXO の両方の設定は必須ではありません。

#### 2017年7月5日

##### パートナー ポータル

- 共有内線番号が設定されている電話デバイスを、他のすべての電話デバイスから共有内線を削除することなく置き換えることができるようになりました。
- [電話の管理 (Manage phone)] ページの [内線番号 (extension)] ポップアップテーブルの下にある [プライマリ (Primary)] 列の名前が「内線番号」に変更されました。
- 1つの内線番号を複数の電話デバイスに割り当てることができます。
- セットアップアシスタントの [SIP トランク] ページの [アウトバウンドプロキシ] フィールドはオプションで表示されます。

- セットアップアシスタントの [ **Direct Dial Numbers** ] ページの上部にあるヘルプテキストが更新されます。DIDテーブルおよびDIDサンプルテンプレート内のテキストは、「サービスプロバイダー」から「サービス名」に更新されます。
- ヘッダー「SMTPサーバ」は、セットアップアシスタントの [ **LANネットワーク接続(LAN Network Connection)** ] ページで「smtpサーバ-電子メールを電子メールで送信する機能を有効にする」に変更されています。

## 2017年6月に導入された機能

### 2017年6月28日

#### パートナーポータル

- 自動応答オーディオファイルを一度だけ再生できるようになりました。これにより、発信者がフリーダイヤル通話でメニューオプションを選択するために費やした時間が短縮されます。セットアップアシスタントの [ **自動応答 (Auto アテンダント)** ] ページの [ 電話の自動応答 (Number of 繰り返す before hang up) ] ドロップダウンリストから **0** を選択できます。
- FXO DID を、セットアップアシスタントの [ **ステーション (station)** ] ページの電話機の内線番号にマッピングできるようになりました。
- これで、セットアップアシスタントの [ **ダイヤルプラン (Dial plan)** ] ページで「ローカル番号の長さ」が「ローカルダイヤルオプション」に変更されました。新しい値「None」がドロップダウンリストに追加されます。[None] を選択すると、[Local Area Code] フィールドが非表示になります。

### 2017年6月21日

#### パートナーポータル

- ダイヤルプランのサポートは、次の国で使用できるようになりました。
  - インド
  - サウジアラビア
- Setup Assistant の **自動応答** ページには、デフォルトのウェルカムメッセージオーディオファイルが含まれるようになりました。

### 2017年6月14日

#### パートナーポータル

- 電話機が正常に追加された後でも、デバイス名を変更できるようになりました。
- パーソナルメールボックスを追加または削除するときに表示されるメッセージの不一致が解決されるようになりました。

## 2017年6月7日

### パートナー ポータル

- 同じパートナー組織内の別のユーザのワンタイムパスワード(OTP)アカウントをリセットできるようになりました。OTPアカウントをリセットするには、ダッシュボードから  をクリックします。[マイユーザ (My People)] ページが表示されます。目的のユーザの [Actions] メニューから [RESET OTP] をクリックします。
- 次のページに移動する前に、Setup Assistant のステーションページでステーションに割り当てられた電子メールアドレスを検証できるようになりました。
- デフォルトのコールパークのリコールタイマーが120秒に増加しました。

## 2017年4月および5月に導入された機能

### 2017年5月31日

#### パートナー ポータル

- セットアップアシスタントのハントグループページの [グループ名] フィールドはデフォルトで空白になっており、値を入力することができます。以前は、このフィールドには、値を入力する前に手動で削除する必要がある「[New]」というテキストが含まれていました。
- セットアップアシスタントの [station] ページのボイスメール列の横にあるスクロールバーが削除されました。
- [内線番号の追加] の下の [モビリティ] ページは、snr に名前が変更されました。モビリティに表示される追加の turn オン/オフスライダと、[内線番号の追加] の下の追加設定ページは削除されました。
- パートナーポータルへの登録が正常に完了した後に受信した登録確認メールの内容は、タイトルになりました。

#### カスタマー管理者ポータルおよびエンドユーザポータル

セルフケアポータルへの登録が正常に完了した後に受信した登録確認メールの内容は、タイトルになります。

### 2017年5月24日

#### パートナー ポータル

- セットアップアシスタントのハントグループページには、デフォルトで次の値が表示されるようになりました。

フィールド	デフォルト値 (Default Value)
ハントメソッド	パラレル

フィールド	デフォルト値 (Default Value)
コールの最大数	24
Maximum wait time	20 秒

- これで、セットアップアシスタントの [ラインカード (Line card)] ページからボイスメールオプションが削除されました。
- 既存の電話機と新しい電話機の両方の電話機名を編集できるようになりました。

## 2017年5月19日

### パートナー ポータル

- ダイヤルプランのサポートは、次の国で使用できるようになりました。
  - アルゼンチン
  - オーストラリア
  - ベルギー
  - コロンビア
  - インドネシア
  - アイルランド
  - イタリア
  - マレーシア
  - メキシコ
  - ニュージーランド
  - スペイン

## 2017年5月10日

### パートナー ポータル

- 展開されている既存のサイトと、オンラインまたはオフラインのいずれかの設定テンプレートを作成できます。テンプレートを作成するには、ダッシュボードで目的のサイトの [アクション (Actions)] メニューから [テンプレートの作成 (Create template)] をクリックし、プロンプトに従います。
- カスタム保留音がサポートされるようになりました。セットアップアシスタントには、選択したカスタムオーディオファイルをアップロードするオプションが表示されるようになりました。オーディオファイルの最大サイズは1万 KB (約20分) です。ファイルはループで再生されます。



---

(注) アップロードは、ファイル形式の au または .wav ファイルのいずれかになります。ファイルは、8ビットの 8 kHz データレートでモノラルで録音する必要があります。たとえば、ITU-T の法律または mu の法律データです。

---

#### カスタマー管理者ポータルとセルフケアポータル

パスワードを忘れた場合は、[パスワードを忘れた場合]をクリックしてパスワードをリセットできますか。ログインページ。登録済みの電子メール id、captcha セキュリティコードを入力し、[リンクの送信 (SENDLINK)] をクリックします。受信箱のパスワードをリセットするための電子メールが届きます。

#### 2017年4月24日

シスコでは、Cisco Business Edition 4000 の一般的なアベイラビリティを発表しています。

---

【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（[www.cisco.com/jp/go/safety\\_warning/](http://www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: [www.cisco.com go trademarks](http://www.cisco.com/go/trademarks). Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2017–2019 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.